

アクションプログラム（個表）

別表2

※ 取組状況の凡例 ○：継続して取り組んでいるもの
 △：実施に向けて検討しているもの
 □：事業を完了したものの

【環境政策局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	地球温暖化対策条例及び地球温暖化対策計画の推進	平成22年10月に全部改正した「京都市地球温暖化対策条例」及び平成23年3月に策定した「京都市地球温暖化対策計画＜2011～2020＞」を推進し、計画の戦略プロジェクトの1つとして掲げている「『歩まち・京都』総合交通戦略」の推進により、自動車から公共交通機関への利用の転換を図る。	条例改正及び計画の策定	条例及び計画の推進	条例及び計画の推進		まちづくり計画策定等	○	
			実績						
			—	「京都市地球温暖化対策計画＜2011～2020＞」(概要版)配布数：約3000冊	「京都市地球温暖化対策計画＜2011～2020＞」(概要版)配布数：約3300冊(累積値)				
2	「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスによる普及啓発	市バスに「DO YOU KYOTO?」のラッピングを行い、市民や国内外の観光客が目にするので、「DO YOU KYOTO?」を合言葉とする環境にやさしい取組の普及啓発を行うとともに、市バス・地下鉄など公共交通機関の利用を促進する。	ラッピングバスの施工、キックオフイベントの開催、ラッピングバスによる普及啓発	ラッピングバスによる普及啓発	ラッピングバスによる普及啓発	25年度以降は未定	広報・PR 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			運行台数7台	運行台数7台	運行台数7台	—			
3	「DO YOU KYOTO?」における「ノーマイカーデー」の取組	引き続き、企業・学校・団体等に対して、毎月16日の「DO YOU KYOTO?」デーにおける「ノーマイカーデー(通勤などでマイカーを使わない日)」の取組を呼び掛け、公共交通機関の利用を促進する。	ノーマイカーデーの取組の推進				公共交通への転換	○	
			実績						
			賛同団体数 94団体	賛同団体数 100団体	賛同団体数 101団体	—			
4	バスと電車でecoグル！	「京都市内の路線で使える乗り放題乗車券」や「スルッとKANSAI」等の当日利用を提示することで、協力飲食店における各種サービスを受けることができるキャンペーンを実施することにより、公共交通機関の利用を促し、環境調和型観光の実現を目指す。	冊子作成・配布による普及啓発			24年度以降は、本市委託事業ではなく、京のアジェンダ21フォーラムの独自事業として実施	公共交通への転換	○	
			実績						
			参加店舗 延べ69店舗/年 (年2回実施)	参加店舗数 延べ170店舗/年 (年5回実施)	参加店舗数 延べ18店舗/年 (1回実施)	—			
5	電気自動車(EV)のカーシェアリング(共同利用)	公用車EVを活用したカーシェアリング事業を実施し、次世代自動車の普及と効率的な利用を促進する。 (24年度9月末実績) 貸出日数：94日 延べ貸出件数：273件	市民への貸出	市民、観光客への貸出	市民への貸出	25年度以降は未定	公共交通への転換	○	
			実績						
			貸出件数 延べ1,518件数 (実績)	貸出件数 延べ884件数 (実績)	貸出件数 延べ273件数 (実績)	—			
6	京都EVエコドライブラリー	未来を担う大学生を中心とした幅広い方々に、京都の歴史と文化に触れながら次世代自動車であるEVの魅力を感じていただき、普及促進を図るため、平成24年3月18日(日)にEVを活用したラリーを実施した。また、ラリーでは、東日本大震災で被災された地域の方々の参加枠を設け、京都から復興を応援した。スタート地点は京都府庁(丸太町駅)、ゴール地点は京都市役所(京都市役所前駅)		京都EVエコドライブラリーの開催 全20チーム参加 (うち2チームが東北から参加)		24年度以降は未定	イベント	□	
			実績						
			—	—	—	—			
7	友・遊・美化バスポート事業	市内の観光地や繁華街を散策しながら清掃活動を実施する。 集合場所を地下鉄駅、バス停に設定し、月2～3回(年間約25回)実施予定。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績						
			2,207人 (参加者数)	1,502人 (参加者数)	1,002人 (参加者数)	—			
8	世界の京都・まちの美化市民総行動	市民、事業者、行政との協働により、門掃き、ごみのポイ捨て禁止等の呼び掛け、不法投棄、放置自転車、違法駐車、違法広告物等のまちの美観を損なうものの一掃に向けた美化活動を実施する。 ・24年6月3日(日) 四条河原町交差点界わい ・24年11月4日(日) 京都市役所前広場～市街地主要街路を予定	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績						
			5,130人 (参加者数)	4,683人 (参加者数)	498人 (参加者数)	—			

【行財政局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	市庁舎前広場等の活用	市庁舎前広場においてイベントを行う場合に、資材の貸出し等の協力やパネル展示による広報・PR用の場所として本庁舎正面玄関内の一部を使用承認することで、より一層の地下鉄・市バス利用者の増加を図る。 また、市庁舎前広場の使用承認を行う際に、主催者に対して、イベント参加者等に公共交通機関を使用するよう周知することを依頼する。	イベント開催等	イベント開催等	イベント開催等	イベント開催等	広報・PRイベント	○	
			実績						
			年間利用者数 約200,000人	年間利用者数 約200,000人	年間利用者数 約200,000人	年間利用者数 約200,000人			
2	京都市職員共済組合「歩こう会」のスタート地点又はゴール地点	年2回(4月、10月)実施している京都市職員共済組合(平成22年度は京都市健康保険組合)「歩こう会」のスタート地点、ゴール地点について、可能な限り地下鉄駅付近に設定する。	会の運営、イベントの開催等 4/18開催 10/24開催	会の運営、イベントの開催等 4/17開催 10/16開催	会の運営、イベントの開催等 4/15開催 10/14開催		職員等利用	○	
			実績						
			4/18 451名 10/24 1022名 (参加者数)	4/17 629名 10/16 638名	4/14 578名				
3	記念品等としてのトラフィカ京カード等の利用	職員提案制度表彰、事務事業評価サポーターの交通費及びふるさと納税寄付特典の際などに交付する記念品等については、特段の事情がない限り、トラフィカ京カードなど交通局が発行するものとする。	21年度から継続実施				乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			職員提案制度表彰 29名 事務事業評価サポーター 60名 ふるさと納税寄付特典 144名	51名 86名 131名	約50名 約90名 約24名	約50名			
4	市バス・地下鉄の利用促進の局内周知	局課長会等の定期的に行われる局内会議で、適宜、総務課から職員に対して、市バス・地下鉄を利用するよう協力を依頼する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			実績						
			940名 (行財政局職員数)	906名 (行財政局職員数)	約610名 (行財政局職員数)	約610名 (行財政局職員数)			
5	地下鉄北山駅における京都市立芸術大学生の作品展示	交通局、芸術大学、財団法人京都市音楽芸術文化振興財団が共同し、京都コンサートホール最寄り駅である地下鉄北山駅で、芸術大学生が製作した音楽をテーマとした作品の発表を通じて、地下鉄駅の賑わいを創出する。	イベント開催等	展示作品の更新	展示作品の更新	-	広報・PR	○	
			実績						
			※学生31名 (31作品)	※学生32名 (約32作品)	※学生30名 (約30作品)	※学生約30名 (約30作品)			
6	東部クリーンセンターの跡地活用の検討【総合企画局等と共管】	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増客の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。			東部クリーンセンターの休止 跡地活用方法について、市民・地元意見を聴取	跡地の活用方法の検討	施設の整備・誘致	△	☆
			実績						

【総合企画局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	各種イベントにおける地下鉄・市バス利用の促進	各種イベントの開催に当たり、会場をできる限り地下鉄・市バス沿線に設定するとともに、広報資料やチラシ等で地下鉄・市バスでの来場を呼び掛けるなど、参加者の地下鉄・市バス利用を促進する。また、後援事業において、地下鉄の利用を呼びかけるチラシを配布するなどの協力を依頼する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PRイベント	○	
			実績						
			205,230人 (各種イベント参加者数)	195,710人 (各種イベント参加者数)	-	-			
2	所管施設におけるPR	局が所管する施設(大学のまち交流センター、国際交流会館)の周知・広報に当たり、地下鉄・市バスでのアクセスが便利であることをPRし、来館者の地下鉄・市バス利用を促進する。 大学のまち交流センター1階を、学生の活動・交流の拠点(学生Place+(学生の活動拠点))としてリニューアルして、利用者により一層の地下鉄・市バスでの来場を呼び掛ける。	取組の推進 学生の活動拠点 (6月13日オープン)	取組の推進	取組の推進		施設の整備・誘致 広報・PR	○	
			実績						
			学生Place+利用者延べ数 52,294人	学生Place+利用者延べ数 63,878人	学生Place+利用者延べ数 32,893人(9月末時点)	-			
3	外郭団体への働き掛け	所管する外郭団体に対して、事業実施に当たっては地下鉄・市バス利用を促進するよう働き掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			実績						
			-	-	-	-			
4	市民しんぶん等による情報発信	市民しんぶんをはじめとする各種市政広報において、適宜、地下鉄・市バスの情報を発信する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			
5	繊維技術センター跡地の同志社大学への売却調整	繊維技術センター跡地について、平成22年10月に今出川キャンパスの再整備を計画する同志社大学と売買契約を締結した。 同志社大学では、同計画により、約9,000人(21年度1,000人、25年度8,000人)の学生数の増員を計画しており、それに併せて、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		施設の整備・誘致	□	
			実績						
			約1,000人	約1,000人	約1,000人	約9,000人			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
6	岡崎地域活性化ビジョンの推進	<p>平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」では、岡崎地域が目指す50年、100年後の将来像の1つに「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」掲げており、地下鉄や市バス増容も視点に入れた「駅・バス停名の変更(「岡崎」を付ける等)」「地下鉄東西線東山・蹴上両駅からのアクセス環境改善」などの実現方を掲げている。</p> <p>平成24年度は、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、多くの市民や関係主体との連携の下で、地域連携型魅力創出事業や神宮道を楽しく歩ける空間とする社会実験の実施など、ビジョンの推進を図る。</p>	岡崎地域活性化ビジョンの策定	取組の推進 ・エリマネ組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」の設立 ・リーディング事業(「あかりとアート」のブロムナード)事業、桜回廊ライトアップ、魅力情報発信事業など)	取組の推進 ・岡崎・あかりとアートのブロムナード(秋・春)をはじめとする四季折々の魅力創出・情報発信事業 ・神宮道を楽しく歩ける空間とする社会実験 など		まちづくり計画策定等 広報・PR	○	
			—	協議会による主な事業の参加者数 ・あかりとアートのブロムナード:約3万人 ・桜回廊ライトアップ:約10万人	協議会による主な事業の参加者数 ・京都岡崎レッドカーペット:約4万5千人	—			
7	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	<p>学校法人京都学園を山ノ内浄水場跡地活用事業者として選定し、基本協定を締結した。京都学園大学の新たなキャンパス設置実現に向け取組を進める。</p>	跡地活用方針の策定	優先交渉事業者の選定	跡地活用事業者の選定 浄水場の用途廃止		施設の整備・誘致	○	
			—	—	—	—			
8	「京都市未来まちづくり100人委員会」	<p>京都の未来のまちづくりについて、白紙の段階から、市民が主体的に議論し、提言するだけでなく、行動する同委員会において、地下鉄・市バス等の公共交通が市民や観光客にとって、より使いやすくなる方策について議論し、平成23年度の第3期に、「地下鉄便利マップ」プロジェクトに取り組んだ。</p>	取組の推進	取組の推進	取組の推進		その他	○	
			—	—	—	—			
9	国際交流会館オープンデー・京都市平和祈念事業	<p>京都に暮らす外国人の存在を市民の方により身近に感じていただくとともに、異文化理解、多文化共生の促進を通じて世界平和の実現につなげることを目的として、国際交流会館で開催する本事業において、来場者への地下鉄利用の呼び掛け、地下鉄駅・車内への広告掲出、会場での地下鉄・市バスのPRなどを行う。</p>	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PRイベント	○	
			14,000人	13,200人	—	—			
10	記念品等としての一日乗車券等の利用	<p>各種事業において交付する記念品等については、可能な限り、一日乗車券やトラフィカ京カードなど、交通局が発行するものを利用する。</p>	取組の推進	取組の推進	取組の推進		乗車券販売・広告収入等	○	
			247枚	35枚	—	—			
11	職員の利用促進	<p>職員に対し地下鉄・市バスの利用を働き掛けるなど、利用促進に努める。</p>	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			—	—	—	—			

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	男女共同参画センター ウィングス京都における各種イベント	イベントのチラシ等に、公共交通機関での来館を呼びかける。	イベントの開催 ウィングスフォーラム2010 12月11日【土】 参加予定者230名 ・その他講座等 随時開催	イベントの開催 ウィングスフォーラム2011 12月3日【土】 参加予定者230名 ・その他講座等 随時開催	イベントの開催 ウィングスフォーラム2012 12月8日【土】 参加予定者230名 ・その他講座等 随時開催	イベントの開催 ウィングスフォーラム2013 参加予定者230名 ・その他講座等 随時開催	広報・PR イベント	○	
			実績						
			194人 (参加者数)	230人	230人	230人			
2	日本女性会議2010きょうと【臨時】	募集案内等に、公共交通機関での来場を呼びかけた。	イベントの開催 <開催日> 10月1日【金】 分科会・交流会 10月2日【土】 開会式・基調報告・記念講演 パネルディスカッション・閉会式・エキスカージョン 10月3日【日】 エキスカージョン				広報・PR イベント	□	
			実績						
			3,210人 (参加者数)	-	-	-			
3	ヒューマンステージ・イン・キョウト	イベント開催の来場について、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	イベントの開催 <開催日> 10月24日【日】	イベントの開催 <開催日> 10月15日【土】	イベントの開催 <開催日> 10月20日【土】	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			618人 (参加者数)	749人 (参加者数)	685人 (参加者数)	-			
4	ツラッティ千本特別展・企画展	イベント開催の来場について、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	特別展の開催 <開催日> 10月12日【火】～11月20日【土】 企画展の開催 <開催日> 3月1日【火】～4月9日【土】	企画展の開催 <開催日> 9月6日【火】～10月22日【土】 特別企画の開催 <開催日> 3月16日【金】	特別展の開催 <開催日> 10月2日【火】～11月4日【日】	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			
5	柳原銀行記念資料館特別展・企画展	イベント開催の来場について、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	特別展の開催 <開催日> 10月19日【火】～11月25日【木】 企画展の開催 <開催日> 3月1日【火】～4月9日【土】	特別展の開催 <開催日> 10月19日【水】～12月9日【金】 企画展の開催 <開催日> 3月14日【水】～4月20日【金】	特別展の開催 <開催日> 11月10日【土】～12月14日【金】	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
6	トラフィカ京カード販売 動物園シリーズ 美術館シリーズ	「動物園シリーズ」に画像提供。園内ショップでも販売。年4回発売。「動物園シリーズ」に画像提供。園内ショップでも販売。年4回発売。 「美術館シリーズ」として、所蔵品をデザインしたカード2種類を販売。その他、期間限定で海外展(23年度はフェルメールからのラブレター展、ワシントン・ナショナル・ギャラリー展)とタイアップし、カードを販売。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			-	-	-	-			
7	動物園デジタルサイネージ(ディスプレイに映像や情報を表示するシステム)の整備・活用	21年度総務省より「ユビキタスタウン構想推進事業(地域ICT利活用推進交付金)」の交付金を受け、その一部で地下鉄駅にデジタルサイネージを設置。設置駅未定。 →地下鉄京都駅 京都市交通局のPRにも活用	22年8月11日から実施	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			
8	市営地下鉄構内での文化市民局関連施設紹介	・動物園月間イベント案内ポスター掲示(13駅) イベントポスターの掲示(全駅) チラシの配布(全駅) 蹴上駅での京都市動物園PRパネルの展示 ・二条城「お城まつり」「ライトアップ」などのイベント開催ポスターを地下鉄各駅構内に掲示し、地下鉄等の利用促進 ・東山駅に京都市美術館の展覧会案内板を設置 ・海外展開催ポスターを地下鉄各駅構内に掲示し、地下鉄等の利用促進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			
9	文化施設へのアクセス紹介	文化施設のポスター、ホームページ、問合せにおいて、地下鉄及び市バスの案内を行う。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			
10	文化施設入場料減免	「市営地下鉄1dayフリーチケット」提示による入場料減額(動物園:団体入園料の適用。二条城は「市営地下鉄1dayフリーチケット」提示により、入城料を通常料金から100円割り引く。 京都市美術館:主催展において団体割引観覧料適用)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	特典付与	○	
			実績						
			5,000人 (1dayチケット利用の入城者)	5,000人 (1dayチケット利用の入城者)	5,000人 (1dayチケット利用の入城者)	5,000人 (1dayチケット利用の入城者)			
11	元離宮二条城におけるイベントの開催	イベント開催時の来城について、市バス・地下鉄での利用を案内し、増客に寄与している。また、元離宮二条城出口に市営地下鉄二条城前駅への進路案内板を常時設置し、地下鉄の利用促進に努めている。	イベントの開催 ○お城まつり <開催日> 10月2日【土】 ～11月23日【火】 ○ライトアップ <開催日> 3月19日【金】 ～4月11日【日】	イベントの開催 ○お城まつり <開催日> 10月15日【土】 ～11月23日【水】 ○ライトアップ <開催日> 3月25日【金】 ～4月17日【日】	イベントの開催 ○お城まつり <開催日> 10月20日【土】 ～11月25日【日】 ○ライトアップ <開催日> 3月23日【金】 ～4月15日【日】	取組の推進	広報・PR イベント	○	
			実績						
			○お城まつり 293,947人 ○ライトアップ 84,204人 (有料入城者数)	○お城まつり 216,821人 ○ライトアップ 64,597人 (有料入城者数)	○お城まつり -人 ○ライトアップ 61,217人 (有料入城者数)	-			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
12	西京極総合運動公園の集客事業による市バス・地下鉄増容対策(京都サンガF.C., 京都ハンナリーズ及び京都アストドリームスのホームゲームの他プロゲームの誘致等)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時バスの運行(サンガ: ホームゲーム終了時間帯に「西京極運動公園前」停留所と①東西線「太秦天神川駅」間②烏丸線「京都駅」に臨時バスの運行, ハンナリーズ: 試合開始時刻に合わせ烏丸線「京都」と「西京極運動公園前」停留所に臨時バスの運行) ・トラフィカカード販売(サンガ, ハンナリーズ, アストドリームスについて, それぞれチーム仕様のカードを発行。このカードを利用して, 試合当日に市バス・地下鉄に乗車することで, 優待価格で観戦できる。) ・地下鉄・市バスの利用促進を伴った3チーム連携事業の実施 ・周回路線の開設(「西京極運動公園前」停留所と東西線「太秦天神川駅」, 烏丸線「五条駅」及び「烏丸御池駅」を周回する路線を新設) ・財団法人京都市体育協会 広報誌「ダッシュ」での集客呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時バスの運行 ・トラフィカ発行 ・スタンプラリー実施 ・周回路線新設検討 ・ダッシュでの集客呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時バスの運行 ・トラフィカ発行 ・3チーム連携事業の実施 ・周回路線の開設検討 ・ダッシュでの集客呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時バスの運行 ・トラフィカ発行 ・3チーム連携事業の実施 ・ダッシュでの集客呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時バスの運行 ・トラフィカ発行 ・3チーム連携事業の実施 ・ダッシュでの集客呼びかけ 	イベント	○	
			実績						
			約26万人(サンガ) 213,297人(20試合@10,700人), ハンナリーズ21,078人(14試合@1,171人), アストドリームス24,672人(16試合@1,542人)	約18万人(サンガ) 119,591人(19試合@6,294人), ハンナリーズ23,988人(21試合@1,142人), アストドリームス35,094人(22試合@1,595人)	約26.6万人(サンガ) 19万人(19試合@1万人), ハンナリーズ3.6万人(18試合@2,000人), アストドリームス4万人(20試合@2,000人)	約40万人(サンガ) 30万人(20試合@1万5,000人), ハンナリーズ5万人(20試合@2,500人), アストドリームス5万人(20試合@2,500人)			
13	京都ソーデーウォーク【臨時】	全国各地からウォーカーの参加を募り, ウォーキングを通じて心と身体への健康づくりのきっかけを提供するとともに, 魅力と活力あふれるまち・京都を広く発信していくことを目的として, 都大路を歩くウォーカーの祭典を2日間にわたり開催する。	事業の開催(平成23年3月5日, 6日開催)	23年度以降は事務局を京都府ウォーキング協会に移管し, 同団体が主体となって実施			イベント	□	
			実績						
			延べ5,057人	-	-	-			
14	第26回国民文化祭・京都2011(事業実施)	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄駅近くの下記の会場にて国民文化祭の各種事業を実施することにより, 地下鉄の増客・増収に寄与する。 ①京都会館: 全国吟詠剣詩舞道祭, 吹奏楽の祭典, 邦楽の祭典及び閉会式※ ②京都コンサートホール: 合唱の祭典及びジュニアオーケストラの祭典 ③美術館: 美術展(日本画, 洋画, 書, 彫刻) ④京都国際会館: 開会式※ ⑤京都親世会館: 能楽の祭典 ⑥金剛能楽堂: 能楽の祭典 ⑦マンガミュージアム: マンガアートフェスティバル ⑧芸術センター: 京の暮らしの文化展 ※については京都府が実施 	○開催				イベント	□	
			実績						
			-	約190,000人(京都市主催事業参加)					
15	第26回国民文化祭・京都2011(ラッピングバス)	国民文化祭をイメージさせるデザインをラッピングした市バスを走らせることにより, 市民等に国民文化祭の周知を図る。(1台配置)	○デザイン決定 ○走行	○走行			広報・PR 乗車券販売・広告 収入等	□	
			実績						
			-	-					
16	第26回国民文化祭・京都2011(トラフィカカード等の発行)	<ul style="list-style-type: none"> 国民文化祭のPRのため, まゆまる等を印刷したトラフィカカード等の発行する。 ○トラフィカカード及び市バス専用一日乗車券カードの発行(4月, 7月, 10月) <ul style="list-style-type: none"> ・トラフィカカード 10万枚 ・市バス専用一日乗車券カード 90万枚 ○国民文化祭への出演者及びスタッフへの記念品として国民文化祭オリジナルトラフィカカード500円券を作成 1万枚 	○発行				広報・PR 乗車券販売・広告 収入等	□	
			実績						
			-	-					
17	市民ふれあいステージ	イベントの開催に当たり, ポスター, チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し, 市バス・地下鉄の利用促進を図る。また, 当日の会場内においてPRブースを設け, 来場者に対して啓発を行う。(平成22年度は10月16・17日に梅小路公園で);平成23年度は国民文化祭に融合して休止。	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR イベント	○	
			実績						
			40,000人(2日間)(10月16・17日に梅小路公園)	-	55,000人(2日間)(10月6日・7日に梅小路公園)	40,000人(2日間)			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
18	京都芸術センター事業	施設におけるイベントの開催に当たり、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR	○	
			実績						
			約60,000人(年間)	約60,000人(年間)	約60,000人(年間)	約60,000人(年間)			
19	美術館事業	美術館主催・共催の展覧会で交通案内を実施し、地下鉄や市バスの利用促進に努めている。(広報チラシ、案内人両面)	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR	○	
			実績						
			年間入場者数 約83万人 内海外展 約26万人 (ポストン美術館展)	年間入場者数 約129万人 内海外展 約69万人 (フェルメールからのラブレター展、ワシントン ナショナルギャラリー展)	-	-			
20	京都ミュージアムズ・フォー(京都市内4館連携協力協議会)	展覧会スケジュール等の印刷物で最寄りの公共交通機関の案内を実施し、地下鉄や市バスの利用促進に努めている。(4館は市美術館の他、国立博物館・国立近代美術館・文化博物館)	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR	○	
			実績						
			-	-	-	-			
21	京都労働学校	申込み案内のポスター、ちらしに市バス・地下鉄等公共交通機関の案内図を掲載し、来場の際の公共交通機関の利用を求めた。	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR	○	
			春期:4~9月 秋期:10~3月	春期:4~9月 秋期:10~3月	春期:4~9月 秋期:10~3月	春期:4~9月 秋期:10~3月			
			約1,800人	約1,700人	-	-			
22	LIVE KIDSの開催	ポスター、ちらしに市バス・地下鉄を利用した来場方法を周知した。	イベントの開催	イベントの開催	イベントの開催	イベントの開催	広報・PR	○	
			日時:平成23年 3月13日	日時:平成24年 3月18日	日時:平成25年 3月16日、17日 (2日間)				
			1,300人 チラシ58,000部 ポスター1,700部	2,200人 チラシ58,000部 ポスター1,700部	-	-			
23	第26回国民文化祭・京都2011(ステップ広告の実施)	国民文化祭のPRのため、地下鉄駅におけるステップ広告を実施する。 ○ステップ広告の実施(4~11月) 地下鉄烏丸線四条駅において1箇所実施する。(デザインについては、約1箇月半ごとに変更予定)		○実施			広報・PR	□	
			実績						
			-	-					
24	第26回国民文化祭・京都2011(きもの無料乗車)	国民文化祭の開催を記念して、開幕当日(10/29)にきもの姿の方は地下鉄・市バスへの乗車を無料にする。(無料乗車に必要な無料乗車券は8月下旬発行のガイドブックに添付する。)		○実施			広報・PR	□	
			実績						
			-	3,000人					
25	消費生活総合センターの窓口案内広告(ラッピングバス)	消費生活総合センターの窓口案内広告のラッピングバスを10台走らせる。	○デザイン決定	○走行			広報・PR	□	
			実績						
			-	-					
26	消費生活総合センターの窓口案内広告(トラフィカ京カード)	消費生活総合センターの窓口案内広告のトラフィカ京カードを発売する。		○1月発行			乗車券販売・広告収入等	□	
			実績						
			-	-					

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
27	京都マラソンの開催	市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。	-	事業の開催 (平成24年3月11開催)	事業の開催 (平成25年3月10日)	事業の開催	公共交通への転換 広報・PR イベント	○	
			実績						
28	消費生活総合センターにおける各種啓発イベント	イベントのチラシ等に、公共交通機関での来館を呼びかける。	-	-	・消費者月間講座／参加者200人 ・落語で学ぶ消費者問題／参加予定者300人 ・食の安全安心フェスタ in KYOTO(保健福祉局共催)／参加者16,000人		広報・PR イベント	○	
			実績						

【産業観光局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	寺院の写真や書をデザインしたトラフィカカードの発行	京都仏教会の協力の下、寺院の写真や書をデザインしたトラフィカカードをシリーズで発行する。	(各2枚組) ・22.4「金閣寺」、「銀閣寺」 ・22.10「清水寺」 ・24.1「天龍寺」 ・24.2「高台寺」 ・24.3「知恩院」	・23. 4「青蓮院」ほか	・24.6「醍醐寺」		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			60万枚 (各10万枚)	10万枚	10万枚				
2	「修学旅行1dayチケット」のPRと発売	修学旅行誘致と市バス・地下鉄の新規旅客を一体的に行うことを目的に多彩な優待内容を満載した「修学旅行パスポート」機能を合わせた修学旅行専用の同チケット販売促進に向けたPRを行う。	販売促進のPR	販売促進のPR	販売促進のPR		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			平成22年度 申込数: 88,913	平成23年度 申込数: 104,205	平成24年9月末 申込数: 891,156				
3	京都コンベンションバスの発行	京都で開催されるコンベンション参加者を対象に、地下鉄・市バスが乗り放題となる格安一日乗車券を発行、斡旋。(最低購入枚数100枚)	販売促進のPR	販売促進のPR			乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
				1件(約4500枚)	3件(11,150枚) (9月末時点)				
4	京都館での市バス・地下鉄乗車券の販売	首都圏における京都情報の受信拠点である京都館において、市バス・地下鉄の乗車券を販売し、観光客の市バス・地下鉄の利用を促進する。 ・京都観光一日乗車券 ・京都観光二日乗車券 ・市バス専用一日乗車券カード ・市営地下鉄1dayフリーチケット	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
5	「歩いて楽しい観光」推進のための観光案内標識の整備	駅や観光地への方向や距離を示した案内標識の整備を進める。実施に際しては、区ごとに検討委員会を設置し、整備を進める。平成20～22年度の3年間で10区(18年度にモデル実施した東山区を除く)にモデル地区を設定して実施。	・上京区、西京区、伏見区で実施 ⇒事業完了				施設の整備・誘致	□	
			実績						
6	「歩いて楽しいまち・京都」観光案内標識アップグレードプロジェクト	観光客の視点に立った分かりやすい観光案内標識の在り方について、関係局からなるプロジェクトチームを設置するとともに、学識者や交通事業者等からなる「観光案内標識アップグレード検討委員会」を設置し、「京都市観光案内標識アップグレード指針」を策定。また平成23年度から平成27年度までの5箇年計画で指針に基づいた観光案内標識の整備を行う。	・「京都市観光案内標識アップグレード指針」の検討	・指針の策定 ・モデル地域(三条通・高倉通・四條烏丸、南禅寺・永観堂エリア)、東山、梅小路周辺における整備	・東山・岡崎・銀閣寺、嵯峨嵐山、中心市街地・北野エリアにおける整備	・金閣寺・龍安寺、中心市街地、東福寺エリアにおける整備	施設の整備・誘致	○	
			実績						
				・指針の策定(9月) ・モデル地域の標識整備(35箇所) ・梅小路周辺エリアの標識整備(43箇所)					

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度				
7	宇多野コースホテルとの連携による市バス・地下鉄増客	年間3万人以上が利用する宇多野コースホテルにおいて、公共交通を利用した観光コースの提案や乗車券等の販売強化等により、宿泊者や集会所等利用者に市バス・地下鉄の利用を呼びかける。	・トラフィカ京カード等の販売 ・公共交通を利用した観光コースの提案					広報・PR	○	
			実績							
8	「SHO-TEN-GAI!!」ガイドブック作成事業	各商店街紹介箇所市バス・地下鉄の利用経路を記載したガイドブック(きょうは買い物日和、50,000部)を市内外において配布し、公共交通機関の利用促進を図る。※同時に外国語版(10,000部)も配布する。	ガイドブックの配布					広報・PR	□	
			実績							
			60000人(ガイドブック配布数)	—	—	—				
9	アニメ・マンガ地域資源掘り起こし事業	京都が舞台となったアニメ、マンガに登場するスポット及び市内各エリアの商店街等を紹介した冊子「京都漫彩」に市バス・地下鉄の利用経路を記載し、市内外において配布することにより、公共交通機関の利用促進を図る。	冊子の作成	冊子の配布				広報・PR	□	
			実績							
			—	15000人(ガイドブック配布数)	—	—				
10	観光客を対象とした公共交通機関の利用促進	16団体で構成する「公共交通機関でおこしやす・京都市協議会」で春秋の観光シーズン前に、近畿、山陽及び中部地方等の主要駅等において、公共交通機関を利用した観光客誘致のためのキャンペーン活動を展開。	・秋の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開	・秋、春の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開				公共交通への転換	○	
			実績							
11	きものでおでかけ乗車無料(「伝統産業の日」事業として実施)	「伝統産業の日」事業の一環として、きもの着用者を対象に、市バスと地下鉄の運賃を無料にする。	取組の推進	取組の推進	取組の推進			特典付与	○	
			実績							
			参加者数 20,586人	参加者数 23,007人	—					
12	京の旬野菜「時待ち食」キャンペーンの実施	認定農家が生産した地場の旬野菜や加工品等を即売しながら、旬の時期を待って食する京都の伝統的でエコな食生活を推進する「京の旬野菜「時待ち食」」のキャンペーンを地下鉄駅構内で実施する。 実施駅: 東野駅、二条城前駅、太秦天神川駅	地下鉄駅構内での野菜直売及び啓発活動の実施(4/22から実施)	地下鉄駅構内での野菜直売及び啓発活動の実施(4/4から実施)	地下鉄駅構内での野菜直売及び啓発活動の実施(4/2から実施)			イベント	○	
			実績							
			10万人(来客数)	10.4万人(来客数)	8.8万人					

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
13	京のこだわり旬野菜直売所の開設	「旬の時期に旬のものを、地域のものを地域で食べる」食生活スタイルを推進し、市内産野菜の消費拡大を図るため、「京のこだわり旬野菜直売所」をゼスト御池に開設する。	地下鉄駅と直結した地下街「ゼスト御池」に市内産野菜の直売所を開設する。 (4/1から実施)	地下鉄駅と直結した地下街「ゼスト御池」に市内産野菜の直売所を開設する。 (4/1から実施)	地下鉄駅と直結した地下街「ゼスト御池」に市内産野菜の直売所を開設する。 (4/1から実施)。 ゼスト御池のリニューアルオープンに伴い7月末で終了)		イベント	□	
			実績						
14	KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience)	京都が持つ、マンガ・アニメ、映画・映像、ゲーム等のコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、これらのコンテンツ産業を支える人材育成・人材交流を図ることを目的としたイベントを実施する。	取組の推進		「京都国際マンガ・アニメフェア2012」(9月21日～23日)など更に事業を拡大当該フェア開催記念の入場券付のトラフィカ京カードも販売(実績:2,900セット)		イベント	○	
			実績						
15	京の七夕	「願い」をテーマに、京都ならではの七夕にちなんで「京の七夕」を京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会等のオール京都体制で実施。京都の新たな夏の風物詩として、京都観光、和装をはじめとする伝統産業の振興を図る。	事業の実施 開催期間:平成22年8月6日～15日 ※点灯19時～21時30分	事業の実施 開催期間:平成23年8月6日～15日 ※点灯19時～21時30分	事業の実施 開催期間:平成24年8月4日～13日 ※点灯19時～21時30分		イベント	○	
			実績						
16	京都ものづくりフェアにおける公共交通機関の利用促進	伝統産業から先端産業まで、京都の優れた技術・技能を紹介し、実演や体験等を通じて「ものづくり」の大切さをアピールすることにより、京都産業の振興と技能尊重気運の醸成を図る。約2,500枚のリーフレット及び約350枚のポスターを発行のうえ関係機関に配布し、フェアの案内とともに、公共交通機関の利用を呼び掛けている。	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催(25年度以降のフェアの開催は未定)	イベント、広報・PR	○	
			実績						
17	東山花灯路	白壁や木々にゆらめく陰影、石畳に映えるほのかな灯り、門前町の店頭に彩りをそえる、ほんやりとした灯りなど、東山地域の地理的諸条件を生かし、和を基調とした「灯り」と「花」による演出を基本手法にして、早春の季節感を魅力的に表現し、地元関係団体と一体となり、持続可能な事業としていく。	事業の実施 開催期間:平成23年3月12日～3月21日 ※点灯時間 午後6時～午後9時30分	事業の実施 開催期間:平成24年3月10日～3月20日 ※点灯時間 午後6時～午後9時30分	事業の実施 開催期間:平成25年3月8日～3月17日 ※点灯時間 午後6時～午後9時30分 (6/19広報発表)		イベント	○	
			実績						
18	「京のまち企業訪問」合同企業説明会における公共交通機関の利用促進	WEBサイト「京のまち企業訪問」の掲載企業が参加する合同企業説明会をみやこめっせにおいて開催し、大学・短大生及び既卒者等に広く周知するため、京都市広報板を活用して約10,600枚のポスターを掲示、約8,000部のリーフレット及び約500枚のポスターを関係機関に配布し、説明会を案内するとともに、公共交通機関の利用を呼び掛けている。		「京のまち企業訪問」合同企業説明会の開催	「京のまち企業訪問」合同企業説明会の開催	「京のまち企業訪問」合同企業説明会の開催(25年度以降の説明会の開催は未定)	その他	○	
			実績						

【保健福祉局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	健康ウォーキング推進事業～笑って湯ったり健康ウォーキング～【臨時】	京都未来まちづくりプランに掲げる「健康で笑顔の市民づくり」及び政策の融合モデル「歩いて楽しいまち」の推進を図るため、地下鉄の駅等を起点とする1時間程度のウォーキングの後、銭湯で寄席を楽しみ、汗を流せる「笑って湯ったり健康ウォーキング」を休日に市内各所で実施し、心身のリフレッシュと参加者同士の交流を深める。 平成21・22年度の2箇年事業	→				イベント	□	
			各区1箇所 全市11回	実績					
			参加者数247人						
2	敬老乗車証制度の普及啓発	70歳以上の市民を対象に市バス・地下鉄に乗車できる敬老乗車証を交付。積極的な普及啓発を行い、交付率の向上に努める。				→	その他	○	
			積極的な普及啓発の実施	実績					
			-	-	-	-			
3	若杉祭	地域とともに歩み地域に根ざした若杉学園を目指して、学園内において学園紹介・遊びコーナー等を「親の会」と共催で実施し、若杉学園周辺の地域住民と交流を図ることにより、障害のある方の理解を深めるという行事であり、毎年1回開催している。	取組の推進 (10月16日)	取組の推進 (10月15日 (土))	取組の推進 (10月20日 (土))	→	イベント	○	
			実績						
			約200人	約200人 (参加者数)	約200人 (参加者数)				
4	本市開催の大都市会議や行政視察における交通局カード乗車券の活用	大都市会議の本市開催時や行政視察等の際に活用するため、積極的に交通局カード乗車券を購入し、配布する予定。22年6月に、大都市民生主管局長会議を開催予定(約60名出席)。※実績:大都市民生主管局長会議(平成22年6月3日、4日開催)で約60名に交通局カードを配布した。				→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			約60名						
5	市民すこやかフェア	・市民が気軽に参加できる催しを通じて、長寿社会を考える機会を提供することを目的に開催する高齢者総合福祉イベント ・チラシ、ポスターに地下鉄最寄駅名を記載	取組の推進 (9月4日、5日)	取組の推進 (9月3日、4日)	取組の推進 (9月1日、2日)	→	イベント	○	
			実績						
			20,000 (参加者数)	12,000 (参加者数)	21,000 (参加者数)	20,000 (参加者数)			
6	京都市子ども動物愛護講座	地域や家庭における動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発をはかるため、市内の小学校5、6年生を対に、毎年1回夏休みに、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	講座の開催 (8月26日)	講座の開催 (8月6日)	24年度は実施なしの予定	→	イベント	□	
			実績						
			29 (参加者数)	70 (参加者数)					
7	京都市動物愛護フェスティバル	動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発をはかるため、毎年9月20日から同月26日までの動物愛護週間に1日、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	フェスティバルの開催 (9月23日)	フェスティバルの開催 (9月23日)	フェスティバルの開催 (9月23日)	→	イベント	○	
			実績						
			861 (参加者数)	831 (参加者数)	8000 (参加者数)				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
8	犬のしつけ方教室 (ガイダンスセミナー講座)	人と動物が共存できる生活環境を確保するための啓発事業として、犬の飼い主に対し、犬の習性・生理などの理解を深めるとともに、飼犬の適正な飼養方法、しつけ方を取っていただくことを、また、これから犬を飼われる方に対し、犬を迎え入れるための準備及び心構えをしていただくために、毎年1回のガイダンス講習と3回の実技講習等を行っている。その内、ガイダンス講習については、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	講座の開催	講座の開催	講座の開催				
			実績						
			42 (参加者数)	78 (参加者数)	85 (参加者数)				
9	京都市動物取扱責任者研修会	動物の愛護及び管理に関する法律に規定する動物取扱業者を営む業者の動物取扱責任者を対象に、動物取扱責任者の業務に必要な知識及び能力の向上を図るため、毎年1～2月に5～6回に分けて、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	研修会の開催	研修会の開催					
			実績						
			351 (受講者)	355 (受講者)					
10	「京の七夕列車」及び絵画列車「子どもたちの願いを乗せて」の運行 (主催 公益社団法人京都市児童館学童連盟・京都市日本保育協会)	「京の七夕」関連事業として、児童館、学童保育所、保育園の子どもたちの願いのこもった短冊を掲出した地下鉄「京の七夕列車」等の運行のほか、時期を別にして、子どもたちが描く絵画を掲出した地下鉄「絵画列車」の運行により、地下鉄の利用促進を図る。	【七夕列車】 8月4日～8月15日 【絵画列車】 10月13日～23日 11月15日～25日	【七夕列車】 8月6日～8月16日 【絵画列車】 9月28日～10月12日 平成24年1月12日～1月22日	【七夕列車】 8月4日～8月14日 【絵画列車】 10月17日～10月28日 12月中旬～12月下旬予定				
			実績						
			短冊518葉 絵画100点	短冊2200葉 絵画約200点	短冊2300葉 絵画約200点				
11	右京ブロック児童館・学童保育所まつり (主催 公益社団法人京都市児童館学童連盟・京都市)	児童館、学童保育所が、ステージ発表、各種コーナーなど、子ども向けの工夫を凝らした出し物を実施し、その中で交通局のブースを設け地下鉄利用をアピールする。	取組の推進 (5月22日)	取組の推進 (5月21日)	※公営交通100周年イベントと同日開催となったため地下鉄増客の取組(ブース出展)無し				
			実績						
			約2,000人	約2,000人 (参加者数)					
12	保育フェスタ	京都市(保育課・市営保育所)、社団法人京都市保育連盟等の代表で組織される「笑顔いっぱい元気いっぱい保育フェスタ実行委員会」での協議をもとに、乳幼児及びその保護者をはじめとする一般市民を対象とした子育て講演会、絵画展、イベントを開催する。 子育て講演会、絵画展、イベントの開催を通じて、「子育て支援都市・京都」の実現に向け、乳幼児健全育成に対する市民の理解と認識を深め、職員の資質向上を図るとともに、本市の保育所(園)及び屋間里親の保育実践を広く市民に周知する。	イベントの開催等 (23年1月29日～31日、2月20日)	イベントの開催等 (24年2月25日～2月27日)	イベントの開催等 (25年1月12～13日、1月26～27日)				
			実績						
			11,738	9,211					
13	京都幼児音楽フェスティバル	市内約27箇園の保育所が、子どもの豊かな心の育成を促進するために、日頃積み重ねてきた音楽リズム保育の成果を市民に広く発表する。	イベントの開催等 (23年2月12、13日)	イベントの開催等 (24年2月4、5日)	イベントの開催等 (25年2月上旬開催予定)				
			実績						
			7,000	8,500					
14	こどもSLフェスタ	こどもの豊かな心の育成を促進するために、日頃の保育では体験できない感動や普段とは違う人々との触れ合いを体験することのできる機関車体験乗車・コンサート及びパフォーマンショーを通じて、児童に社会見学及びレクリエーションの場を提供する。	イベントの開催等 (5月21日)	イベントの開催等 (23年11月10日)	イベントの開催等 (24年5月22日)				
			実績						
			1,896	1,600	1,530				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
15	京都市屋間里親制度60周年記念事業記念式典	産休明けからの乳児を、昼間、一般家庭で保育する本市独自の「屋間里親制度」が今年度で60周年を迎えることを記念し、これからの制度発展と子どもたちの健やかな成長を願って、京都市屋間里親連絡会との共催により、親子で参加できる多彩な企画を実施する。	イベントの開催等 (6月26、27日)				イベント	□	
			1,000						
16	京都市保健福祉局食中毒・感染症予防対策研修会	本市に関連する保健・福祉施設の施設長や食品取扱いに従事する担当者及び市民を対象に、各施設における食品衛生管理の向上及び食中毒等の事故防止に資するため、最近の食中毒等に関する情報や予防知識についての研修を地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	研修会の開催				その他	○	
			約700名	827名	702名	600 (受講者)			
17	ほほえみ広場	・障害のある市民もいない市民も互いに交流できる催しを実施することにより、障害のある市民への理解を促進するとともに、障害のある市民の社会参加を推進することを目的としている。 ・チラシ、ポスターに地下鉄最寄駅名を記載 ・交通局的ブースを設け、公共交通利用の啓発を行うことを予定している。	イベント開催等 (10月15日)	イベント開催等 (10月20日)			イベント	○	
				5,000人					
18	全国車いす駅伝競走大会	障害のある人々の社会参加の促進と障害者スポーツの振興を図るとともに、障害のある人々に関する理解と認識を深めることを目的として、全国規模の車いす駅伝競走大会を開催している。 地下鉄駅にスタート地点を設けるとともに、地下鉄駅を通るコースとしている。	大会の開催 (2月20日)	大会の開催 (2月19日)	大会の開催 (2月17日)		イベント	○	
			4,000人 (大会参加者)	4,000人 (大会参加者)					
19	京都やんちゃフェスタ(第1部、第2部)	子ども、子育て中の家庭、子育て支援者ほか全ての市民を対象に、児童の健全育成と子育て支援を推進する総合的な次世代育成イベントを開催。イベントでは、親子で楽しめるステージ、各種遊び・工作・体験のコーナー、各種展示コーナー等を展開する。 イベントのポスターやチラシに地下鉄の最寄駅からのアクセスを地図で表示している。	イベントの開催 (第1部10月23日、第2部11月27日)	イベントの開催 (第1部10月8日、第2部1月21日)	イベントの開催 (第1部10月27日、第2部12月22日)		イベント	○	
			第1部43,000人 第2部7,000人	第1部40,000人 第2部8,000人	第1部46,000人				
20	福祉ボランティア・社協フェスタ	京都市では、まちづくりをはじめとする様々な分野におけるボランティア活動など、市民の皆様の自主的な活動を支援しています。また、各社会福祉協議会においては、地域を基盤とした住民主体の地域福祉活動の推進に取り組まれています。 このような地域福祉活動団体やボランティアグループの取組の紹介と交流により協働とネットワークを進めるとともに、広く市民に知っていただくため、イベントを開催する。	イベントの開催 (10月17日)	イベントの開催 (10月2日)	イベントの開催 (10月14日予定)		イベント	○	☆
			参加者数 約5,000人	参加者数 約7,000人					

【都市計画局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	パークアンドライド駐車券の発行(平成23年4月から試行実施)	京都市醍醐駐車場の収益増加を図る取組の一環として、同駐車場の利用当日に地下鉄東西線醍醐駅で地下鉄に乗降された方に対して、パークアンドライド駐車券として、1,200円相当の駐車券を960円で販売する。(パークアンドライド駐車券の販売場所:パセオ・ダイゴロー西館インフォメーション、販売時間:午前10時から午後8時まで)		試行実施	試行実施				
			実績	—	116 (パークアンドライド駐車券販売数)	62 (パークアンドライド駐車券販売数)	—		
2	バス停・地下鉄駅近隣の公共施設等におけるイベントの開催	市バスのバス停や地下鉄駅に近い公共施設等において積極的にイベントを開催し、施設等の利用者を増やすことにより、市バス・地下鉄の利用促進に寄与する。 ＜関連施設＞ ア 御池公共地下広場 イ パセオ・ダイゴロー西館アトリウム(公共空間) ウ 京都市景観・まちづくりセンター エ 平成の京町家モデル住宅展示場 オ 京都市すまい体験館(H24から京都市すまい耐震支援窓口含む)	イベント、事業の開催						
			実績	7,489,622 (イベント参加者数等)	7,516,274 (イベント参加者数等)	3,880,579 (イベント参加者数等)	(7,698,000) 参考数値		
3	公共交通利用促進策に対する付置義務引下げ(京都市駐車場条例)	自家用車から公共交通機関への利用転換の促進及び地球環境への負荷が少ないエコ・コンパクトな都市構造を目指すことを目的に、地下鉄等の公共交通機関を利用し、来店される方に対する割引サービスなどを実施する特定用途の建築物に対して、公共交通への利用転換に応じた付置義務台数の引き下げを行う。	—	・取組の推進 ・引下げ規定の拡大の検討	・引下げ規定の拡大(5月1日施行) ・取組の推進				
			実績	—	4(相談件数)	1(引下げ件数) 4(相談件数)	—		
4	地域住民・事業者の主体的な都心のにぎわい創出支援(御池通沿道のまちづくり)	御池通を京都のシンボルロードとしてふさわしい通りとするため、特別用途地区策定や沿道景観形成計画を定めるなど、魅力的な景観形成やにぎわいのある市街地の形成を目指している。 また、御池通の目標像の一つである「にぎわいと文化」を創出するための取組の一環として、平成18年度から沿道5学区、沿道事業者、京都商工会議所及び京都市で構成する実行委員会主催による「おいけフェスタ」を実施している。 ※「おいけフェスタ」については、平成24年度は10月13日、14日に開催予定	取組の推進						
			実績	32,000 (来場者数)	23,000 (来場者数)	25,000 (来場者数)	25,000 (来場者数)		
5	地域住民・事業者の主体的な都心のにぎわい創出支援(烏丸通沿道のまちづくり)	烏丸通のにぎわい創出に向け、平成18年度から烏丸通沿道(三条～高辻間)の地権者等からなる烏丸通沿道懇談会が立ち上がり、地区計画策定や街路樹のイルミネーション等のイベント事業に取り組まれており、京都市は、これらの取組支援を行ってきた。今後、烏丸通沿道懇談会は新組織「烏丸通まちづくり協議会」へ移行するため、設立及び運営の支援を行う。 中長期的には、これら様々な取組を通じて、ビジネス機能・商業サービス機能の集積を図っていくことで、結果として通勤客・買い物客の増加が期待できる。 ※イベントについては、烏丸通の一般通行客との区別ができないため、参加者数を定めていない。新組織への移行中のため、平成24年度はイベントを実施しない。	会の運営、イベントの開催等への支援		新組織「烏丸通まちづくり協議会」設立、運営の支援				
			実績	—	—	—	—		

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度				
6	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げて「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議や実施プロジェクトを具体的に推進するための3つの推進マネジメント会議を設置し、推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」推進本部会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」推進本部会議の開催 「歩くまち・京都」推進会議及び3つの推進マネジメント会議の開催 効果検証のための調査・分析 	<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」推進本部会議の開催 「歩くまち・京都」推進会議及び3つの推進マネジメント会議の開催 効果検証のための調査・分析 	<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」推進本部会議の開催 	まちづくり計画策定等	○		
7	「スローライフ京都」大作戦	市民のライフスタイルの中で交通行動の変革を意識付けるため、全国で初めて、全市民、観光客等に向けた大規模なモビリティ・マネジメント(MM)を体系的に実施する。市内を運行する電車やバスの便利な情報等を、あらゆる機会を捉えて重層的、複合的に市民に提供し、環境や健康、経済面での公共交通利用の優位性に気付いていただき、自発的な意識改革による交通行動の変化を図り、自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を図る。	実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 	公共交通への転換	○	
			実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 			
8	「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化	「歩くまち・京都」総合交通戦略の先行実施プロジェクトとして交通事業者、関係機関と協議を行ってきた、市内で運行する鉄道、バス事業者間の連携による公共交通ネットワーク強化のための施策について具体的な実現を図り、公共交通の更なる利便性の向上を図る。	実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 	利便性向上	○	
			実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 			
9	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区(四条通、河原町通、御池通、烏丸通)において、四条通の歩道拡幅や公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保と賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進する。	実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 	公共交通への転換	○	
			実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 			
10	「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業	市内都心部の幹線道路であり、また、東山区民の生活道路として、多くの人や車が行き交う東大路において、観光客を含めた「人」が主役の歩いて楽しい歩行空間の創出に向け、「環境」「景観」「地域コミュニティ」「観光振興」などの観点から、道路空間の再配分を行い、併せて無電柱化やバリアフリー化を推進する。	実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 	まちづくり計画策定等	○	
			実績				<ul style="list-style-type: none"> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 未来の公共交通利用者を確保するための学校でのMMの実施 企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 タクシー-MMの実施 			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
11	京都駅南口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	・市民意見募集の実施 ・整備計画の策定 ・測量の実施	・予備設計の実施 ・協議会等の開催	・都市計画決定、事業認可、詳細設計着手 ・協議会等の開催	→ ・取組の推進	利便性向上	○	
			実績						
			・市民意見募集の実施 ・「京都駅南口駅前広場整備計画」の策定 ・測量の実施	・予備設計の実施	—	—			
12	観光地交通対策	人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を図るため、秋の観光ピーク期に、我が国を代表する観光地である嵐山地区と東山地区において、京都府警察等関係機関と連携の下、臨時交通規制やシャトルバスの運行等、交通の円滑化と安全快適な歩行者空間を創出する交通対策を実施する。	・観光地交通対策の実施	・観光地交通対策の実施	・観光地交通対策の実施	→ ・取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績						
			・観光ピーク時の11月に嵐山地区及び東山地区で交通対策を実施	・観光ピーク時の11月に嵐山地区及び東山地区で交通対策を実施	—	—			
13	パークアンドライドの実施	市内への自動車流入抑制と公共交通の利用促進を図るため、近隣自治体や駐車場事業者等からなる「京都市圏パークアンドライド連絡協議会」との連携の下、実施箇所及び実施期間の拡大など、広域的なパークアンドライドを展開する。	・パークアンドライド実施箇所の拡大	・市周辺部でのパークアンドライドの拡充及び利用促進	・市周辺部でのパークアンドライドの拡充及び利用促進	→ ・取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績						
			・パークアンドライドの継続実施	・パークアンドライドの継続実施	・パークアンドライドの継続実施	—			
14	交通施設バリアフリー化の推進	「京都市交通バリアフリー全体構想」において「重点整備地区」に位置付けた14地区25駅のバリアフリー化事業が完了したことから、平成32年度を目標年次とする「「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」を策定し、引き続き、旅客施設及び周辺道路等の重点的・一体的なバリアフリー化を推進する。	・JR東福寺駅、京阪東福寺駅の整備 ・嵯峨嵐山地区における連絡会議の開催	・「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想の策定	・「移動等円滑化基本構想」の策定（太秦地区、大宮地区）	→ ・取組の推進	利便性向上	○	
			実績						
			・JR東福寺駅、京阪東福寺駅の整備 ・嵯峨嵐山地区における連絡会議の開催	・「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の開催（4回）	・（太秦地区・大宮地区）「バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の開催（各1回）	—			
15	「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）の設置	公共交通の一層の利便性向上を図るため、より利便性の高い公共交通ネットワークの構築や情報発信の拠点として、事業者、学識経験者と協力して、「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）を設置する。このセンターでは、市民や観光客のニーズに応じて、鉄道・バスを上手に組み合わせ、効率的に移動できるルート等の情報を分かりやすく提供するとともに、モビリティ・マネジメントなど、公共交通の利用促進に資する事業を展開する。			・「歩くまち・京都」公共交通センター（仮称）の設置	→ ・取組の推進	広報・PR	□	
			実績						
			—	—	「歩くまち・京都」公共交通センターの設置	—			
16	「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」の推進	歩行者の安全な歩行空間を確保するための道路幅や歩道の築造が困難な都心の細街路において、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」と指定し、ゾーンを明示するとともに、ゾーン内を走行する自動車の速度抑制対策や路側帯の拡幅等を行う。			・歴史的都心地区を先導的に「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」と設定し、事業着手	→ ・取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績						
			—	・「歩くまちゾーン」実証実験の実施	—	—			
17	空き家の活用の促進	地域連携型空き家流通促進事業をはじめ、空き家を活用促進するための施策を実施する	・地域連携型空き家流通促進事業の試行	・地域連携型空き家流通促進事業の実施	・地域連携型空き家流通促進事業の実施	→ ・取組の推進	その他	○	☆
			実績						
			・モデル地区2地区で事業実施	・事業地区拡大（5地区）	・事業地区拡大（7地区） ・京都市空き家対策検討委員会の設置	—			

【建設局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	Think Our Street推進委員会が開催する研修会【臨時】	全国28都市が加盟するThink Our Street推進委員会の研修会(11月)を京都市内で開催するにあたり、地下鉄沿線に会場を設定し、地下鉄でのアクセス方法を案内する。	11月4日～5日 研修会の開催	→加盟市による輪番開催→			広報・PR	□	
			実績						
			33人参加						
2	広告付きバス停上屋の設置に向けた関係機関の調整	広告付きバス停上屋の設置によるバス待ち環境の向上により増客を図るため、関係機関による協議会を設置し、必要な許可等を円滑に行うための調整を行う。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		利便性向上	○	
			実績						
			—	—	—	—			
3	自動販売機等駅利便施設の設置に係る道路占用許可申請手続の簡素化	地下鉄利用者の利便性向上による増客を図るため、地下鉄施設内における自動販売機等利便施設の道路占用について、歩行者の通行に支障のない範囲で地下鉄事業者の自主管理に委ねる取扱いを平成20年10月1日から実施している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		利便性向上	○	
			実績						
			—	—	—	—			
4	駐輪場の整備	地下鉄駅及び市バス停留所周辺で駐輪場を整備し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		施設の整備・誘致	○	
			実績						
			—	—	—	—			
5	「道の日」記念事業(地下鉄沿線での事業実施)	8月の「道の日」記念イベントをゼスト御池河原町広場(地下鉄京都市役所前駅)で行う。イベントでは、道路の正しい利用についての啓発、自転車駐輪マナーの向上キャンペーン等を行う。	イベントの開催 (8月10日)	イベントの開催 (8月10日)	イベントの開催 (8月10日)		イベント	○	
			実績						
			約100 (参加者数)	約100 (参加者数)	約100 (参加者数)				
6	交通安全フェスタ	盲導犬講習やさまざまな交通安全体験を通して、交通安全活動を推進する。	イベントの開催 ※東日本大震災を受け開催中止	イベントの開催 (7月24日)	イベントの開催 (7月29日)		イベント	○	
			実績						
				参加者数 3,000人	参加者数 3,000人				
7	グリーンフェア	市民の皆様が京都市を代表する都市公園「梅小路公園」の広大な緑や、季節の花々に親しんでいただくために年2回、春と秋に開催している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績						
			春・秋/ 81,000 (来場者数)	春・秋/ 56,000 (来場者数)	春/42,000 (来場者数)				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
8	春のこどもまつり	大宮交通公園にて年1回春に開催している。子供に楽しみながら交通に関する知識や、正しい交通ルールを身につけてもらうことを目的につくられた本公園の取組を広く理解してもらうために開催している。	取組の推進 ※東日本大震災を受け開催中止	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績						
			0 (来場者数)	2,000 (来場者数)					
9	京都市記念植樹奨励事業	「花の名所」づくりを目指して、結婚、誕生等の慶事を迎えた市民の皆様や発展祈念等をされる企業・団体みなさんに費用の一部を負担していただき、公園等において花木を記念植樹する。 植樹場所：竹田公園(地下鉄いなほ橋駅西側) 宝ヶ池公園(地下鉄国際会館駅)	取組の推進	取組の推進	取組の推進 (15本募集)		施設の整備・誘致	○	☆
			実績						
			31 (本数)	19 (本数)					
10	梅小路公園の再整備	梅小路公園の新たな公園施設として「水族館」及び「鉄道博物館」の整備(提案)がなされたことを契機に、梅小路公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		施設の整備・誘致	○	☆
			実績						
				京都水族館開業(24年3月14日)	1,700,000(京都水族館入場者数※開業後半年時点)				
11	パークアンドライド駐車場の開設	阪神高速8号京都線(鴨川西出入口～上鳥羽口駅付近)高架下等を利用し、パークアンドライド駐車場を開設することで、地下鉄の利用促進を図る。 ※鴨川西ランプ駐車場において、PiTaPa、ICOCAで地下鉄十条駅を降車すると、駐車料金300円割引。上鳥羽ランプ駐車場において、PiTaPa、ICOCAで地下鉄いなほ橋駅を降車すると、駐車料金300円割引			駐車場開設		施設の整備・誘致、公共交通への転換、特典付与	○	☆
			実績						

【北区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	北区民ふれあい事業 (公共交通機関の利用促進)	四大まつり(春・夏・秋・冬まつり)や人権啓発事業等、北区民ふれあい事業の実施に当たり、参加者に公共交通機関の利用を積極的に呼び掛ける。	取組の推進	地下鉄の日(5月29日)に北区民春まつりのPR活動を行い、公共交通機関による誘客を図った。			広報・PR	○	
			実績						
			約22,000人 (参加者数)	同左	同左				
2	北区民春まつりにおける交通局コーナーの設置	市バス・地下鉄の利用を呼びかけるとともに、市バス1日乗車券等や交通局オリジナルグッズの販売を行う。	取組の推進				イベント 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			約300人 (コーナー来客数)	同左	同左				
3	北区伝統ブランドいきいき発信事業	北区で生産されている京野菜をPRするイベント「もぎたて 京の朝市」を市バス・地下鉄駅及びその付近で開催。	取組の推進 (22年度で終了)	※23年度については、生産者主体で京都市役所前ひろばで朝市を実施。			イベント	□	
			実績						
			約900人 (来場者数)	約400人 (来場者数)	×				
4	北区北部山間いきいき大作戦エコツアーリズムキャンペーン	北区の豊かな自然と伝統的な山村風景を多くの方に体感していただき、守っていくために、自然と素朴な人の営みを撮影した写真を募集するイベントを開催。(23年度はフォトコンテスト計4回、フォトツアー計4回実施予定) 現地へのアクセスに公共交通機関の利用を呼び掛ける。	取組の推進				イベント	□	
			実績						
			約150人 (参加者数)	258人 (フォトコンテスト、フォトツアー参加者数)	×				
5	地下鉄30周年記念イベントにおけるPR	「おかげさまで30周年 京都地下鉄まつり」会場にて、地下鉄・市バスを利用して北区民春まつりへの来場を促すピンバッジやチラシを配布し、PRを実施した。	取組の推進 (23年度のみ)				イベント	□	
			実績						
				5人 (北区民春まつりでの缶バッジ持参者)	×				
6	雲ヶ畑松上げ鑑賞ツアー	雲ヶ畑で行われる松上げ行事鑑賞のための交通手段として、地元自治会がバスをチャーターし、バスの出発点を北大路とすることで、地下鉄・市バスの利用を促進。	取組の推進				イベント	○	
			実績						
			34人 (参加者数)	60人 (参加者数)	40人 (参加者数)				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
7	人権啓発作品展における記念品に交通局カード乗車券を利用	人権啓発作品展の応募者への記念品に交通局のカード乗車券を利用	取組の推進				乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			86人 (授与者数)	81名 (授与者数)	未定				
8	北区ハートスポットスタンプラリー	人権月間の催しとして、北区内の人権に関する展示を行う施設、人権月間に関する催し、福祉施設等を巡るスタンプラリーを行う。(23年度新規事業)	取組の推進				イベント	○	
			実績						
				95人 (授与者数)	未定				
9	歩こう会	北区厚生会事業「歩こう会」を実施するにあたり、参加者に集合場所までの交通手段について、公共交通機関の利用を積極的に呼び掛ける。	取組の推進				イベント	○	☆
			実績						
				28人 (参加者数)	未定				

【上京区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	「上京区民ふれあいまつり」における市バス等のPR	交通局にPRブースの出店を依頼し、トラフィカカードや交通局オリジナルグッズの販売やマスコットキャラクター(京ちゃん、都くん)のステージ出演などで市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。	イベントの開催				イベント 乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績						
			来場者数 約7,000人	来場者数 約8,000人					
2	「上京区憲法月間映画のつどい」・「上京区講演のつどい」における公共交通機関の利用促進	同志社大学寒梅館を利用して開催する左記事業において、ポスター・チラシに市バス・地下鉄の案内を表示するとともに、地下鉄主要駅へポスターの掲示・チラシの配架を行う。	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			来場者数 約1,000人	来場者数 約1,300人	来場者数(映画) 962人				
3	委員謝礼の支払いとして市バス一日乗車券やトラフィカ京カードを配布	地域力推進室・企画担当が主催する各種委員会の委員に対して、謝礼として市バス一日乗車券やトラフィカ京カードを配布。	取組の推進				乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績						
			配布人数 34人	配布人数 56人 (28人×2回)	配布人数 79人				
4	職員の利用促進	職員内で企画する催しの際に、会場までの移動手段として、利用可能な場合は、臨時バスを手配。または、市バスの利用を勧奨。(開催時期未定)	イベントの開催				臨時バスの 運行	○	
			実績						
			利用者 約40人	利用者 約40人	利用者 約40人				
5	上京散策手帳における市バス・地下鉄情報の掲載	観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区の観光スポットを紹介している小冊子「上京散策手帳」の紙面上の地図において、市バス路線・系統番号及び停留所を明記。また、本データはホームページにもアップロードしている。 ※ なお、手帳そのものは発行部数すべてを配布し終え、現在はホームページでの啓発のみ	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			アクセス数 2,048	アクセス数 1,511	アクセス数 642				
6	ホームページコンテンツ(撮っておき上京!)における市バス・地下鉄情報の掲載	観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区ホームページコンテンツ「撮っておき上京!」において、現地への市バス・地下鉄での行き方を交通局に依頼し明記。	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			アクセス数 1,440	アクセス数 1,033	アクセス数 353				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
7	かみぎゅうくんのTwitterにおける市バス・地下鉄利用の呼びかけ	来庁時や観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区マスコットキャラクター「かみぎゅうくん」のTwitterにおいて、市バス・地下鉄利用を呼びかける書き込みを断続的に掲載。	取組の推進				→	広報・PR	○
			実績						
			フォロワー数 約200	フォロワー数 約360(通算)	フォロワー数 約420(通算)				
8	上京まち歩きツアー「京・上京探訪」のマップにおける市バス・地下鉄情報の掲載	まち歩きツアーの行き帰りの際の公共交通機関の利用を促進するため、参加者に配布するマップに、ツアーの始点と終点の市バス・地下鉄の最寄り駅を記載し、利用を促す。 また、同内容のデータを区にホームページにもアップロードしている。	取組の推進				→	広報・PR	○
			実績						
			参加者数 60人	参加者数 49人	参加者数 15人				
9	まち歩きツアー開催案内の地下鉄の配架	実行委員として上京区役所が参加している「まいまい京都」実行委員会が主催するまち歩きツアーにおいて、各コースの集合場所を電車・バスの駅前等に設定し、公共交通機関の利用を促している。また、この案内チラシについては、交通局の協賛をいただき、平成23年度から地下鉄全駅に当該チラシを配架中。	取組の推進				→	広報・PR	○
			実績						
				参加者数1,051人 配布枚数11,000枚	参加者数1,707人 配布枚数4,500枚				

【左京区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度				
1	ふれあい事業等での公共交通機関利用促進	ふれあい事業等を市バス・地下鉄沿線で開催する際には、パンフレットに最寄駅やバス停、系統を記載。また、関係団体、参加者に市バス・地下鉄利用を呼び掛ける。啓発ブースを設ける場合は、交通局も開設できるよう配慮する。	取組の推進					イベント乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			約6,000人	約8,000人	約6,000人	約7,000人 (参加見込数)				
2	職員の市バス利用の促進	職員内で企画する催し等において、トラフィカカードを配布する。	取組の推進					乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			70枚 (配布数)	0枚 (配布数)	70枚 (配布予定数)	70枚 (配布予定数)				
3	「留学生がおすすめる文化と歴史の左京ウォーキングマップ」への市バス地下鉄路線図の掲載	「留学生がおすすめる文化と歴史の左京ウォーキングマップ」において市バス地下鉄路線図の掲載	取組の推進					広報・PR	○	
			実績							
			20,000部 (パンフレット作成数)	—	—	—				
4	職員プロジェクトチーム「歩くまち・左京の推進に向けて」による検討	職員プロジェクトチーム「歩くまち・左京の推進に向けて」による検討	取組の推進					その他	□	
			実績							
			—	—	—	—				
5	委員謝礼に「スルッとKANSAI都カード」利用	各種委員謝礼に「スルッとKANSAI都カード」を利用するとともに、5月22日開催した新庁舎開所式の記念品として配布した。	取組の推進					乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			12人 (委員謝礼数)	142 (委員謝礼数、開所式参加者数)	20 (委員謝礼数)	20 (委員謝礼数)				
6	来庁者向け市バス・地下鉄情報の掲載	左京区役所ホームページにおいて、左京区役所への市バス・地下鉄によるアクセスマップを掲載している。また、新総合庁舎への交通アクセスについて、学区単位で周知チラシを作成し、町内等で回覧した。	取組の推進					広報・PR	○	
			実績							
				約5,000枚 (配布数)						

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
7	市民しんぶん左京区版「左京ボイス」区民作品コーナー(川柳・挿絵)謝礼に「トラフィカ京カード」利用	市民しんぶん左京区版「左京ボイス」区民作品コーナー(川柳・挿絵)の謝礼に「トラフィカ京カード」を利用する。	取組の推進				乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			60人 (掲載数)	60人 (掲載数)	60人 (掲載数)	60人 (掲載数)			
8	「左京旬の朝市」の開催	「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画(第2期))に基づき、農林業の振興やエコライフの実践を目指し、地元の旬の農作物を地元で消費することで、農業を守り、地域活性化や二酸化炭素の抑制を図る「地産地消」に向けた「左京旬の朝市」を開催する。(平成23年12月9日開催)	取組の推進				イベント	○	
			実績						
				約400人 (来場者数)	約800人 (来場者見込数)	約800人 (来場者見込数)			

【中京区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	テレビモニター広報による市バス・地下鉄利用の呼びかけ	区役所設置の5台のテレビモニターを利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。	区役所庁舎内のテレビモニターによる広報の実施	同左	モニター広告新規契約により、モニター設置台数が3台に変更		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
2	「はんなり中京マップ」拡大版の掲示	地下鉄等の駅やバス停などを掲載している同マップの拡大版を庁内等に掲示することで来庁者や観光客等の公共交通機関利用を促進。	区役所庁舎内等への掲示	同左	同左		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
3	委員謝礼としての「トラフィカ京カード」利用	各種委員会・会議の委員に支払う謝礼として同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進。	中京区基本計画策定委員会の開催(2回)	中京区基本計画推進委員会の開催(年度内2回予定) 第1回: H23.6.27	・中京区基本計画推進委員会の開催(年度内2回予定) ・マヒト来る作成学生スタッフへ配布		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			26 (述べ委員数)	15 (延べ委員数)	—	—			
4	職員の利用促進	中京区厚生会事業で、事業参加者に記念品としてトラフィカ京カード500円分を配布した。	厚生会事業で記念品としてトラフィカ京カード配布	同左	23年度で終了		職員等利用	□	
			実績						
			厚生会事業参加者数 80人	厚生会事業参加者数 63人					
5	「中京区民ふれあいまつり」における地下鉄利用の促進	ふれあいまつり開催の広報活動を通じて、地下鉄(市バス)利用を呼び掛けるとともに、当日は交通局ブースを出店しトラフィカ京カードの販売等を行う。 開催日 平成24年10月28日(日)※予定 会場 中京中学校※予定	取組の推進	取組の推進	24年以降は未定(出店数なども踏まえて検討)		イベント	○	
			実績						
			19,000 (来場者総数)	19,000 (来場者総数)					
6	中京しんぶんの読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」利用	中京しんぶん(市民しんぶん中京区版)の読者プレゼントとして同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進	22年7月15日号以降、同カードを利用(毎号3枚)	引き続きクイズの景品として「トラフィカ京カード」を使用(23.4月号及び9月号はクイズ休載)	引き続きクイズの景品として「トラフィカ京カード」を使用予定		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			中京区民世帯数 54,928世帯 (22.5.1現在)	中京区民世帯数 56,092世帯 (23.4.1現在)	中京区民世帯数 56,651世帯 (24.4.1現在)				
7	中京区基本計画キャッチフレーズ募集時、優秀作応募者への記念品として「トラフィカ京カード」利用	中京区基本計画(案)への意見募集(パブリックコメント)時、区基本計画キャッチフレーズの優秀作応募者への記念品として同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進		22年度で終了			乗車券販売・広告収入等	□	
			実績						
			6名						

【東山区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	東山区来訪者向けホームページへの市バス・地下鉄情報の掲載	公共交通機関の利用を促進するため、東山区各名所へのアクセス情報を公共交通機関の情報に限定し、区内各観光名所やイベント情報の掲載には、市バス・地下鉄の最寄り駅などを紹介するほか、交通局や便利な乗車券を紹介するページにもリンク。 (区内観光地へは市バス・地下鉄をはじめとした公共交通機関の利用を促す情報を充実)	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
2	東山「観光・交通・環境」協力会議との協働による取組の推進	取組の一環として、市バス・地下鉄などの公共交通機関利用を促す観光散策マップの発行や観光案内標識の設置など、歩いて楽しむ観光を推進。 連休や秋の観光シーズンなど、入出の混雑が予想される際には交通誘導員を配置し、安全に散策できるような環境づくりに取り組む。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
3	東山区民ふれあいひろばにおける参加者の市バス・地下鉄の利用促進	広報時に、会場までの交通手段として公共交通機関の利用を促す文言を掲載。また、当日は交通局ブースを出店しトラフィカ京カードの販売等を行う。	取組の推進 22年5月30日開催	取組の推進	取組の推進 24年5月27日開催		イベント 乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績						
			約13,000人 (来場者数)	悪天候により中止	約14,000人 (来場者数)				
4	職員の利用促進	職員内で企画する催しにおいて、トラフィカ京カードを使用。	取組の推進 23年2月16日開催	取組の推進 24年1月17日開催	取組の推進 25年1～2月開催予定。		乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績						
			66人 (参加者数)	67人 (参加者数)					

【山科区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	京都・やましな観光ウィークの実施	21年11月開催の観光イベント、京都・やましな観光ウィーク「恋の地・平安浪漫の路in 勸修寺・随心院」の成果を踏まえ、観光イベントを継続的に実施。	観光イベントの開催 (11月19、20日)	観光イベントの開催 (11月18日、19日)	観光イベントの開催 (11月16日、17日)		イベント	○	
			実績						
			約2,100人	約1,300人	未定	未定			
2	「おこしやす”やましな”協議会」による市バス・地下鉄の利用促進の取組	以下の取組を実施。 ①京都観光一日乗車券(山科・醍醐拡大版)の販売促進(乗車券利用当日、提示した方に山科区の4寺院の拝観料割引を実施。乗車券販売期間中) ②地下鉄駅における観光マップの配布 ③協議会HPによる広報・PR(地下鉄を利用した山科区へのアクセス方法などを掲載)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			—	—	—	—			
3	京都観光一日乗車券(山科・醍醐拡大版)の販売促進	販売促進策として、市民しんぶん山科区版でのPR、区内イベントのPRに合わせたPR等を実施。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			—	—	—				
4	おこしやす”やましな”スタンプMAP(仮称)～山科を巡って、名産品をゲットしよう～の実施	山科への観光客数増加を図り、地下鉄の増客対策につなげるため、地元団体と連携したスタンプラリーを実施。また、山科の観光イベントや名所などについても紹介する広報活動を積極的に展開。	スタンプラリーの実施				広報・PR イベント	□	
			実績						
			約1,200人						
5	「陶灯路」魅力発信プロジェクトの実施	平成23年秋に清水焼の「陶灯路」を自分で制作し、家庭で楽しむほか、「駅前陶灯路」などの観光イベントにおいて飾り、見て楽しむとともに、「陶灯路」の存在を区内外に広くPRするプロジェクトを実施する。ポスター、チラシ等によりPRを行う。		事業の実施 8月5日、6日 陶灯器絵付け教室開催。 10月8日のやましな駅前陶灯路及び11月17日・18日の京都・やましな観光ウィークで陶灯器を飾るサポーター活動を実施			広報・PR イベント	□	
			実績						
				100人(絵付け教室) 103人(駅前陶灯路及び観光ウィークでのサポーター活動)					
6	「山科区エコアクションNo.1宣言」参加者の地下鉄利用促進	東部文化会館(柳辻駅付近)で開催予定のイベントの実施に当たり、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。また、地球温暖化防止の取組を推進することで、地下鉄等の公共交通機関の利用促進を図る。	取組の推進 9月11日実施	取組の推進 9月10日実施	取組の推進 9月8日実施		広報・PR イベント	○	
			実績						
			約600人	約600人	約650人				
7	山科区役所関連事業の賞品等へのトラフィカ京カードの利用	「山科区エコアクションNo.1宣言2012」関連事業の賞品等、山科区役所関連事業の賞品等に、できる限りトラフィカ京カードを利用する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			トラフィカ京カード購入(千円券6枚)	トラフィカ京カード購入(千円券6枚)	未定	未定			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
8	市民啓発事業における公共交通機関の利用促進	【平成22年度】 憲法月間(5月25日実施)…各種団体のリーダーを対象に研修会を実施(市内の施設見学)。移動手段として地下鉄を利用。人権月間(12月3日実施)…開催場所を東部文化会館(柳辻駅付近)とし、案内チラシ等で地下鉄利用を呼びかけた。 【平成23年度】 人権月間の啓発イベントは、東部文化会館で実施したため、案内チラシ等で地下鉄利用を呼びかけた。	取組の推進 憲法月間(5月25日実施) 人権月間(12月3日実施)	取組の推進 人権月間(12月2日実施)	取組の推進 人権月間(12月7日実施予定)		広報・PR	○	
			実績						
			憲法月間 18人 人権月間340人 (定員)	憲法月間 - 人権月間500人 (定員)					
9	「ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭」参加者の地下鉄利用促進	開催場所を東部文化会館(柳辻駅付近)とし、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。	取組の推進 23年2月13日実施	取組の推進 24年2月26日実施	取組の推進 25年2月24日実施予定		広報・PR イベント	○	
			実績						
			約4,350人	約3,000人					
10	山科区交通問題研究会の設立(平成22年度で終了)	区交通問題を解決するための対策案を議論する場として、区内交通事業者、地元団体、学識経験者、庁内関係部局などで構成する研究会を設立。地下鉄の増客につなげることも視野に、研究・検討するとともに、地下鉄駅へのバス時刻表の貼付や、地下鉄小野駅付近で地下鉄とバスの時刻表が掲載されたマップを配布するなど、公共交通の利用促進に取り組んだ。平成23年度は、「山科区公共交通利用促進協議会」において交通事業者などと連携を図っていくとともに、新たな交通システムの導入に向けて地域とともに検討していく。	研究会の設置、交通問題に関する研究・検討				その他	□	
			実績						
			-						
11	山科区公共交通利用促進協議会の取組の推進	平成22年度の「山科区交通問題研究会報告書」において、既存の交通システムの改善方策として、平成23年度に設立することとした「山科区公共交通利用促進協議会」を立ち上げた(5月13日)。協議会では、山科区の公共交通ネットワークの充実に向けて、公共交通の利用促進と利便性向上を図るため、公共交通事業者と関係行政機関が情報共有と意見交換を行う。		山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	その他	○	
			実績						
12	区民が選んだ「山科の魅力」の選定(平成22年度で終了)	区民が親しみ誇りとし、未来に伝えたい山科の魅力を選定し、冊子「京都山科東西南北」としてまとめた。22年度には「冊子完成記念イベント」や選定した山科の魅力を訪れる「山科の魅力探訪」を実施した。また、冊子で紹介した魅力の所在地までの案内地図を、区内の地下鉄5駅の改札口周辺に設置したことにより、地下鉄で山科を訪れる方も増えることが期待される。	案内板の設置、イベントの実施				広報・PR イベント	□	
			実績						
			約300人(冊子完成記念イベント)						
13	山科区民歩こう会における地下鉄の利用(平成22年度で終了)	これまで、山科区役所や区内の小学校等を集合場所とし、区内中心に実施してきたが、22年度は、集合場所を鴨川御池大橋東詰めをスタートとし、地下鉄を利用していただくためのコースを設定した。	取組の推進 22年12月5日実施。				イベント	□	
			実績						
			約260人						
14	山科区役所職員に対する市バスの利用喚起	山科区役所全職員に対して、市バスの現状を周知し、通勤利用及び私的利用を促進。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			実績						
			-	-	-	-			

【下京区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	下京区総合庁舎駐輪場拡充	身体障害者用3台を除き、駐輪場を廃止し、駐輪場を拡充する。これにより、自動車中心社会から公共交通機関と徒歩、自転車の利用への転換を促す。	10月15日供用開始。				施設の整備・誘致	○	
			実績						
			—	—	—	—			
2	「下京門前町ルネッサンス」参加者の市バス・地下鉄の利用促進	両本願寺門前地区を中心にイベントを開催。参加者による公共交通機関の利用促進を図る。秋頃実施予定。	10月31日に開催。	(事業終了)			イベント	□	
			実績						
			2,000						
3	「下京区ふれ愛ひろば」参加者の市バス・地下鉄の利用促進	梅小路公園でイベントを開催。参加者による公共交通機関の利用促進を図る。11月11日に実施予定。	11月7日に開催。交通局マスコットによるPRを実施。	11月13日に開催	11月11日に開催予定		イベント	○	
			実績						
			10,000	12,000	12,000 (平成23年度実績)	12,000 (平成23年度実績)			
4	モニター広告による市バス・地下鉄の利用案内の放映	モニター広告を利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。	来庁時の公共交通機関利用を呼び掛け				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
5	市バス利用の啓発	庁舎入口に市バスの時刻表を掲示し来庁者の利用を促進している。	庁舎入口に市バスの時刻表を掲示				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
6	広告付き周辺案内図における市バス利用の利用案内	庁舎入口に設置している広告付き周辺案内図に、庁舎周辺及び京都駅にバス乗り場の案内を掲載している。	庁舎1階に周辺案内図を設置				広報・PR	○	☆
			実績						
			—	—	—	—			
7	公共交通情報チラシの配布	下京区内の公共交通マップを配架し、公共交通の利用を促進している。	公共交通マップを配架				広報・PR	○	☆
			実績						
			—	—	—	—			
8	区役所主催・関連事業における市バス等のPR・公共交通機関の利用促進	事業の周知を行う際には、チラシ、ポスター、市民しんぶん区版に、地下鉄・市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。			取組の推進		広報・PR	○	☆
			実績						
			—	—	—	—			

【南区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	投票所における市バス時刻表の掲示	各種選挙の期日前投票所に最寄のバス停の時刻表を掲示。	府知事選挙(4月)、参議院選挙(7月)の際に実施。	統一地方選挙(4月)、市長選挙(2月)の際に実施。	以後、継続。		広報・PR	○	
			実績						
2	南区役所が主催する屋外イベント等における参加者に対する公共交通機関の利用促進	参加者に対して、集合場所を地下鉄の駅として地下鉄の利用を促し、パンフレットや区版等による広報の際に、市バスの利用促進を呼び掛ける。	人権バスツアー(5月27日)や南区民ふれあいまつり(11月14日)の際に実施。	南区民ふれあいまつり(11月)や環境施設見学会(3月)の際に実施。	人権バスツアー(5月)や南区民ふれあいまつり(11月)、環境施設見学会(3月)		広報・PR	○	
			約3万人	約3万人(2回)	約3万人	約4万人			
3	南区が主催する講演会やシンポジウムにおける公共交通機関の利用促進	参加者に来場の際に市バス・地下鉄を利用するよう啓発活動を行う。	人権月間における講演会(12月3日)等の際に実施。	人権映画鑑賞会(8月)や人権講演会(12月)文化フェスティバル(2月)の際に実施。	人権映画鑑賞会(8月)や人権講演会(12月)文化フェスティバル(2月)の際に実施。		イベント	○	
			実績						
4	南区と区内の企業で共催する見学会における公共交通機関の利用促進	見学会のしおりや市民しんぶん南区版の案内記事において、公共交通機関の利用促進を記載している。		南区企業の”知”活用促進事業(8月、12月)の際に実施。	南区企業の”知”活用促進事業(7月、10月)の際に実施。		イベント	○	
			実績						
5	職員の利用促進	職員内で企画する催し等において、交通局の臨時バス利用を検討。また、トラフィカ京カード等の交通局乗車券も活用する。	職員厚生会事業の景品として、トラフィカ京カード等を利用。	以後、継続。			臨時バスの運行乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
6	南区が発行・更新する市民しんぶんやHPなどの広報媒体を利用した公共交通機関の利用促進	南区が発行・更新する市民しんぶんやHPなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進についても情報発信を積極的に行っていく。	市民しんぶん発行時やHP更新時に、適宜実施。	以後、継続。			広報・PR	○	
			実績						
			トラフィカ京カード4枚	トラフィカ京カード1枚、スロットKANSAI12枚	スロットKANSAI2枚				
			約60万人	約60万人	約60万人	約60万人			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
7	南区役所関連事業の協力者等への謝礼としてトラフィカ京カード等の交通局乗車券の活用	南区役所が実施する事業等に協力していただいた市民等に謝礼としてトラフィカ京カード等の交通局乗車券を提供することで、公共交通機関の利用促進を図る。	謝礼への活用を適宜検討。	市民しんぶん南区版のクイズコーナー「ぶらり散策」の当選者にトラフィカ京カードを贈呈(毎月3名)。	以後、継続。	→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
8	来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	庁舎内で公共交通機関の時刻表を設置し、情報提供をすることで、来庁者の利用促進を図る。	庁舎内に市バスの時刻表を掲示。	以後、継続。		→	広報・PR	○	
			実績						
9	広告モニターによる公共交通機関利用促進	庁舎内広告モニターにおいて、公共交通機関の利用促進、啓発を行っている。		モニターを利用した公共交通機関の利用促進の呼び掛け。	以後、継続。	→	広報・PR	○	
			実績						
10	南区の行政機関において公共交通機関利用促進の連携	区内の行政機関で構成される南区行政推進会議において、公共交通の利用促進について議題に取り上げ、促進に向けた連携について考える。			取組の推進	→	広報・PR	○	
			実績						

【右京区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	サンサ右京の施設設備を活用した地域振興事業等の実施	自治会連合会をはじめとする区民団体等とのきょうかんにより、サンサ右京「区民ロビー」をはじめとする施設設備を、福祉屋台（福祉施設の手づくり製品の展示販売）など、柔軟な発想で幅広く活用し、地下鉄の利用促進につながる事業を展開。	取組の推進				イベント	○	
			実績						
			—	—	—	—			
2	区役所主催・関連事業における市バス等のPR・公共交通機関の利用促進	事業の周知を行う際には、市民しんぶん区版やポスターに、市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
3	ふれあい事業等での公共交通機関利用促進	ふれあい事業等において、景品として「トランジカカード」を使用し、来場者に市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進				イベント 乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績						
			約8000名	参加者8,000人 チラシ25,000枚 配布	—	—			
4	テレビモニター広告による市バス・地下鉄の利用案内の放映	区役所に設置している5台の広告用テレビモニターを利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。22年6月から実施中。	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
5	区役所における地下鉄・市バスの利便性の向上	区役所内に市バス・地下鉄時刻表を貼り出し、来庁者の利便性向上とともに利用促進を図る。	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
6	楽しく歩けるまち・右京を考えるプロジェクト「てくてく太秦」の実施	太秦界隈に住まう人々と区役所との共汗により、地域の魅力を再発見し、太秦天神川駅等を起点とした楽しく歩けるルートの設定を行う。 また、24年度にはそれらの成果としてマップを作成し広くPRすることで、地下鉄等の利用促進を図る。	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
7	南太秦学区におけるモビリティ・マネジメントの取組	地下鉄東西線の延伸に合わせて市バス70号系統が新設されたことを契機に、ワークショップの開催、啓発冊子やポケット時刻表の制作など、モビリティ・マネジメント（一人ひとりが歩く暮らしを大切にすることによって、クルマを重視したまちと暮らしから、歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための施策）の取組を展開。	取組の推進				公共交通 への転換	○	☆
			実績						
			—	—	—	—			

【西京区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	市バスの利用促進に向けたPR	イベント等の参加者や区役所への来庁者に対して、できるだけ多くの方に市バスを御利用いただけるようPRに努める。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	広報・PR	○	
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
2	来庁者向け市バス情報のホームページへの掲載による市バスの利用促進	西京区役所へのアクセスに関する市バスの情報をホームページに掲載し、来庁者に活用してもらうことを通じ、市バスの利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	→	広報・PR	○		
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—				—
3	西京区民ふれあいまつりにおける歩くまち京都推進室のブースの出展による「歩くまち・京都」憲章の普及啓発及び公共交通機関のPR	西京区民ふれあいまつり(平成24年11月17日開催予定)において、歩くまち京都推進室のブースを出展し、「歩くまち・京都」憲章の普及及び市バスをはじめとする公共交通機関の利用促進のための啓発を行う。	取組の推進 (平成22年11月20日に実施)	取組の推進 (平成23年11月19日に実施)	辞退の申出あったため、平成23年度で終了	イベント	□		
			実績						
			約9,500 (参加者数)	約6,200 (参加者数)					
4	「西京ウォーキングマップ～地域の魅力再発見～」の配付やホームページへの掲載を通じた市バスの利用促進	市バスの停留所等を起終点とする8つのコースを設定した「西京ウォーキングマップ～地域の魅力再発見～」を西京区役所等で配布するとともに、コースごとに主要駅と起終点を結ぶ市バス等の系統番号など、より詳細な情報も加えホームページに掲載することを通じ、区民はもとより、市民や観光客にも幅広く活用してもらい、市バスの利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	広報・PR	○	
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
5	西京区魅力再発見ふれあいウォーキングを通じた市バスの利用促進	「西京ウォーキングマップ」を活用して、区民との協働により実施する「ふれあいウォーキング」について、市バスの停留所が起点や終点となることを考慮しながらコースを設定する等、市バスの利用促進を図る。	取組の推進 (平成22年6月13日及び平成23年2月6日に実施)	取組の推進 (平成23年6月4日に実施)	取組の推進 (平成24年6月10日に実施)	→	イベント	○	
			参加・利用者数(人/年間)						
			754 (参加者数)	240 (参加者数)	220 (参加者数)	250 (参加者数)			
6	職員の利用促進	職員間において企画する催し等の交通手段として、できるだけ市バスを利用するよう周知する。	取組の推進 (平成22年10月8日、12月11日及び平成23年2月4日に実施)	取組の推進 (平成23年10月7日、12月10日及び平成24年2月17日に実施)	取組の推進 (平成24年10月23日に実施及び平成25年2月に実施予定)	→	職員等利用	○	
			参加・利用者数(人/年間)						
			323 (参加者数)	307 (参加者数)	300 (参加者数)	300 (参加者数)			
7	西京塾との連携により作成した「市バス29号系統で巡る西京区の自然環境」の配布を通じた市バスの利用促進	自主的なまちづくり活動を行う「西京塾」の「環境・自然班」のメンバーと協働して、西京区内を走る市バス沿線の見所を紹介する「市バス29号系統で巡る西京区の自然環境」を作成し、広く配布することにより、市バスの利用促進を図る。	マップの作成 (平成23年3月に完成)	マップの配布	マップの配布	→	広報・PR	○	
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
8	「DO YOU KYOTO? 西京デー・ゆかたでgo!」を通じた公共交通機関の利用促進	西京区民が率先して環境に良いことをする日「DO YOU KYOTO? 西京デー」(7月16日及び8月16日)を設定し、希望者(両日とも50名)に無料でゆかたの着付けを行うとともに、スルッとKANSAIの500円分カードをプレゼントし、市バスをはじめ公共交通機関を利用して外出する機会を提供する。		取組の推進 (平成23年7月16日及び8月16日に実施)	取組の推進 (平成23年7月16日及び8月16日に実施)	→	イベント	○	
				参加・利用者数(人/年間)					
				74 (参加者数)	80 (参加者数)				
9	区民参加型の環境パートナーシップ事業における各種教室を通じた公共交通機関の利用促進	西京区民ふれあい事業実行委員会主催の区民参加型の環境パートナーシップ事業における各種の教室を開催するに当たり、参加者に公共交通機関の利用を促す。		取組の推進 (平成23年7月3日、9月10、11日に実施、平成24年2月25日、3月3日に実施)	取組の推進 (平成24年9月8日に実施、平成24年3月3日、10日に実施予定)	→	イベント	○	
				参加・利用者数(人/年間)					
				224 (参加者数)	54 (参加者数)				
10	人権月間「映画のつどい」における市バスの利用促進	西文化会館ウエスティで開催する人権月間「映画のつどい」(平成24年12月15日実施予定)の取組において、公共交通機関を活用して来場するよう入場はぎに記載すること等を通じ、市バス等の利用促進を図る。		取組の推進 (平成23年12月17日に実施)	取組の推進 (平成24年12月15日に実施予定)	→	イベント	○	
				参加・利用者数(人/年間)					
				360 (参加者数)	400 (参加者数)				

【洛西支所】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	市バスの利用促進に向けたPR	イベント等の参加者や区役所への来庁者に対して、できるだけ多くの方に市バスを御利用いただけるようPRに努める。					広報・PR	○	
			取組の推進	取組の推進	取組の推進				
			実績						
			—	—	—	—			
2	来庁者の市バス利用促進に向けた取組	洛西支所の最寄のバス停(洛西バスターミナル及び境谷大橋)に停車する市バスの発着時刻表を配布し、市バスの利用促進を図る。					広報・PR	○	
			取組の推進	取組の推進	取組の推進				
			実績						
			1000 (利用者数)	(利用者数)	(利用者数)	(利用者数)			
3	西京区民ふれあいまつりにおける歩くまち京都推進室のブースの出展による「歩くまち・京都」憲章の普及啓発及び公共交通機関のPR	西京区民ふれあいまつり(平成23年11月19日開催予定)において、歩くまち京都推進室のブースを出展し、「歩くまち・京都」憲章の普及及び市バスをはじめとする公共交通機関の利用促進のための啓発を行う。	取組の推進 (平成22年11月20日に実施)	取組の推進 (平成23年11月19日に実施)	歩くまち京都推進室よりブース出展辞退の申し出あり。		イベント	○	
			実績						
				約9,500 (参加者数)	約6,200 (参加者数)	9,500 (参加者数)			
4	西京区民ふれあいまつりにおける洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループの出展による公共交通機関利用のPR	4バス事業者・2鉄道事業者及び京都市で構成する洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループが、西京区民ふれあいまつり(平成23年11月19日開催予定)において、バス4台の展示等を行うとともにブースを出展し、公共交通機関利用促進の啓発を行う。		取組の推進 (平成23年11月19日に実施)			イベント	○	
			実績						
					約6,200 (参加者数)				
5	らくさいさくら祭における洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループの出展による公共交通機関利用のPR	4バス事業者・2鉄道事業者及び京都市で構成する洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループが、らくさいさくら祭(平成24年4月7日開催)において、バス4台の展示等を行うとともにブースを出展し、公共交通機関利用促進の啓発を行う。			取組の推進 (平成24年4月7日に実施)		イベント	○	
			実績						
						48,000 (参加者数)			
6	洛西の魅力発見・発信事業を通じた市バスの利用促進	洛西地域の魅力を地域住民との共汗で発見・発信する事業である「まち歩き」等を実施する際に、市バスの利用を呼びかけるとともに、事業を洛西ニュータウンポータルサイト「まちボタン」を通して広く内外へ情報発信することにより、さらに市バスの利用促進を図る。		取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
					130 (参加者数)	(参加者数)			
7	西京区魅力再発見ふれあいまつりウォーキングを通じた市バスの利用促進	大原野ほっこりまったりウォーキング(平成22年12月4日実施)において、市バスの利用促進につながる場所を起終点とするコースを設定するとともに、往復計4本市バスの増便を行い、利用促進を図った。	取組の推進 (平成22年12月4日に実施)				イベント	□	
			実績						
				291 (参加者数)					

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
8	健康ウォーキングマップ(四季の洛西路)を活用した取組	西京区洛西エリアの魅力あるウォーキングコース(6コース)を掲載した健康ウォーキングマップ(平成22年度作成)を活用し、健康づくりのためのウォーキングとともに公共交通機関の利用促進を図る。	マップ作成	取組の推進	取組の推進 新マップの作成	取組の推進	広報・PR	○	
			実績						
			—	450 (参加者数)	97 (参加者数)	—			
9	職員の利用促進	職員間において企画する催し等の交通手段として、できるだけ市バスを利用するよう周知する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			実績						
			314 (参加者数)	約200 (参加者数)	200 (参加者数)	—			
10	大原野地域における観光交通対策	住民、交通事業者、関係行政機関等で構成する「大原野地域観光交通対策協議会」において、秋の観光シーズンの交通渋滞対策を協議し、連携して対策に取り組むとともに、善峯寺のホームページにおいて公共交通機関の利用を呼びかけることにより、住民の生活路線を確保するとともに、観光客の利便性の向上を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
11	洛西ニュータウン創生推進委員会における交通局との連携	洛西ニュータウン創生推進委員会の主催するイベント等において、市バス利用のPRを行うなど、交通局との連携を行い、市バスの利用促進を行う。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR イベント	○	
			実績						
			—	—	—	—			

【伏見区】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	各種イベントチラシにおける市バス・地下鉄でのアクセスルート掲載	区役所が主催・共催等する各種イベントの周知チラシにおいて、可能な限り、市バス・地下鉄でのアクセスルートに掲載。	イベント毎に市バス・地下鉄でのアクセスルートに掲載	イベント毎に市バス・地下鉄でのアクセスルートに掲載	イベント毎に市バス・地下鉄でのアクセスルートに掲載		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
2	市バス・地下鉄利用の啓発	庁舎1階の玄関や各課の窓口において、区役所来庁時には、市バス・地下鉄を利用してもらうよう啓発。また、各種送付文書や行事等の案内文で公共交通機関利用促進を啓発。	庁舎1階入口に市バスの時刻表を掲示、市民窓口ロビーに市バス・地下鉄路線図を配架	庁舎1階入口に市バスの時刻表を掲示、市民窓口ロビーに市バス・地下鉄路線図を配架	庁舎1階入口に市バスの時刻表を掲示、市民窓口ロビーに市バス・地下鉄路線図を配架		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
3	広告モニターを使っ ての公共交通機関 の利用促進	庁舎内設置の広告モニターを活用し、来庁される方や職員に市バス・地下鉄を中心とする公共交通機関利用について啓発。	広告モニターで地下鉄・市バスの利用を啓発	広告モニターで地下鉄・市バスの利用を啓発	広告モニターで地下鉄・市バスの利用を啓発		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
4	職員の利用促進	定例課長会や所属掲示板等あらゆる機会をとらえ、職員に対して、市バス・地下鉄を利用するよう協力を依頼。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			実績						
			—	—	—	—			
5	広報・PR(情報提供)	近隣の市バス停留所を示した簡素な案内地図をA4サイズ程度で作成し、ラミネートした状態で窓口席上に設置。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
6	地下鉄駅周辺を拠点とした事業の実施	地下鉄駅、もしくは駅に近い場所を拠点とした事業を実施し、区民や職員の利用を促進する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績						
			—	—	—	—			
7	敬老乗車証の利用促進	生活保護受給世帯のうち、敬老乗車証の交付を受けていない70歳以上の方を対象に、制度の周知を図り増容につなげる。	6月以降、家庭訪問の際に個別に働きかけた。	引続き家庭訪問の際に個別に働きかける。	引続き家庭訪問の際に個別に働きかける。		その他	○	
			実績						
			—	—	—	—			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
8	委員謝礼としての「ト ラフィカ京カード」の 利用 【伏見区基本計画策 定委員会】	「伏見区基本計画策 定委員会」の委員に 支払う謝礼として同カードを利用し、公 共交通機関の利用を促進する。	委員会の開催 (年間2回程 度)	22年度で終了			乗車券販 売・広告 収入等	□	
			46(延べ委員 数)						
9	委員謝礼としての「ト ラフィカ京カード」の 利用 【伏見区基本計画推 進区民会議】	「伏見区基本計画推 進区民会議」の委員 に支払う謝礼として同カードを利用し、公 共交通機関の利用を促進する。			委員会の開催 (年間2回程 度)		乗車券販 売・広告 収入等	○	
					55(延べ委員 数)				
10	委員謝礼としての「ト ラフィカ京カード」の 利用 【伏見区区民活動支 援事業審査会】	「伏見区区民活動支 援事業審査会」の委 員に支払う謝礼として同カードを利用し、 公共交通機関の利用を促進する。			審査会の開催 (年間1回程 度)		乗車券販 売・広告 収入等	○	☆
					11(延べ委員 数)				

【深草支所】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度				
1	テレビモニタ広告を 使った公共交通機 関利用促進	22年度から導入したテレビモニタ広告にお いて、公共交通機関による来庁及び市バス・地下鉄利用の促進を図っている。 24年度においても、同様に利用促進を継 続している。	テレビモニタ広 告の掲載	テレビモニタ広 告の掲載の継 続	テレビモニタ広 告の掲載の継 続		広報・PR	○		
			実績							
			—	—						
2	ふかくさ旬野菜の直 売	深草産の野菜や深草の竹を使った製品等 の販売を行い、深草の旬の野菜の魅力を PRする。	7月4日に深草 総合庁舎前に て開催	5月28日・11月26日 にふかくさ100円商店 街と3月3日の深草ま るごとサロンの日で販 売。 10月16日に第21回 深草ふれあいプラザ で販売		10月13日の第 22回深草ふれ あいプラザで販 売予定	イベント	○		
			実績							
			約100人	約33000人	約15000人					
3	深草トレイル	深草・稲荷地域は、伏見稲荷大社や藤森 神社などに代表される多くの名所・旧跡や 広大な竹林を有し、各所を結ぶ散策路(ト レイル)を平成20年度に整備した。22年度 には大岩山周辺の里山づくりを進め、大岩 山展望所コースとして拡充整備し、深草ト レイルの魅力を上させた。 コースは京阪伏見稲荷駅及び藤森駅又は 墨染駅をスタートとするため、竹田駅や、 地下鉄三条京阪駅等での乗り継ぎを通し て地下鉄利用者の増加が見込まれる。	京都総合観光案内所 等で深草トレイルマッ プを配布 3月26日(土)に深草ト レイル大岩山展望所 コース完成イベントを 開催	地下鉄竹田駅や最 寄のバス停を掲載 した新トレイルマッ プを平成23年4月 から観光案内所等 で配布。 トレイル紹介のホー ムページをリニュー アルした。		交通局と連携し て、竹田駅から の誘客を図るた めキャンペーン を実施	交通局と連携し て、竹田駅から の誘客を図るた めキャンペーン を実施	施設の整 備・誘致	○	
			実績							
			トレイルマップ は平成22年度 約2万部配布 3月26日イベント 参加者数は約 320人	新深草トレイル マップは平成2 3年4月から平 成24年3月末 までに約6,500 枚配布						
4	深草ふれあいプラザ	深草の良さを再発見し、地元への愛着を 更に図ることを目的として、幅広い世代の 住民が相互に交流を深めることができる各 種事業を展開する。 事業の実施において、公共交通機関の利 用を呼びかける。	第20回深草ふ れあいプラザ	第21回深草ふ れあいプラザ	第22回深草ふ れあいプラザ	第23回深草ふ れあいプラザ	広報・PR	○		
			実績							
			約15000人	約15000人	約15000人	未定				

【醍醐支所】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	地下鉄東西線と醍醐コミュニティバスとの連携した醍醐エリアへの集客増加対策	平成22年度に作成した、「京の醍醐めぐり-観る・味るの魅どころ満載！おさんぽまっぷ-」及びPRポスターを活用し、地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関の利用促進につなげる。	企画・実施	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			—	観光マップ 4万部 PRポスター 500枚	—	—			
2	醍醐ふれあいプラザにおける交通局ブースの出店	ふれあいプラザにおいて交通局にブース出店を依頼し、地下鉄・バスの利用を呼び掛ける。	取組の推進	取組の推進	9月16日(日)実施		広報・PRイベント	○	
			実績						
			—	—	—	—			
3	刊行物等への交通アクセスの記載の働き掛け	寺社・各種団体等が作成する行事のパンフレット等に、交通アクセスとして地下鉄東西線の記載を働き掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			
4	広告用TVモニターによる地下鉄・バスの利用促進の周知	22年4月から支所に設置している広告用TVモニターを利用して、来庁者へ地下鉄・バスの利用を呼び掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			

【消防局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	京都市消防出初式	訓練や行進等を通じ、力強い姿を披露するとともに、「安心・安全のまち京都」の推進に努めていく決意を新たにすることを目的として京都会館前付近(予定)で開催 市バス・地下鉄での来場を勧奨する。 ○開催日(年1回、1月に実施。成人の日(1月の第2月曜日)の前日)	取組の推進 23年1月9日(日)開催	24年1月8日(日)開催	25年1月13日(日)開催予定		イベント	○	
			実績						
			約2,800(参加者等)	約2,800(参加者等)	約2,800(参加者等)	約2,800(参加者等)			
2	京都市消防団定例表彰式及び消防団員家族のつどい	市民の生命と財産を守るため、業務に精励する消防団及び消防団員の表彰を行うとともに、団員とその家族の献身的な協力を感謝するため「消防団員家族のつどい」を京都コンサートホールで開催 市バス・地下鉄での来場を勧奨する。 ○開催日(年1回、11月に実施)	取組の推進 22年11月2日(火)開催	23年11月7日(月)開催	24年11月7日(水)開催予定		イベント	○	
			実績						
			約3,000(参加者等)	約3,000(参加者等)	約3,000(参加者等)	約3,000(参加者等)			
3	「防火ふれあいコンサート」	多くの市民に音楽を通じて防火・防災の啓発を行うため、消防音楽隊による「防火ふれあいコンサート」を毎月各1回、市内4箇所(キタオオジタウン、ゼスト御池、ポルタプラザ、パセオダイゴロー)の地下鉄沿線で開催	取組の推進				イベント	○	
			実績						
			約9,000(参加者等)	約9,000(参加者等)	約9,000(参加者等)	約9,000(参加者等)			
4	京都市市民防災センターの利用勧奨	京都市市民防災センター(南区西九条菅田町7)における災害の疑似体験、イベント等へ参加する際、市バス・地下鉄の利用を勧奨する(通年)。	取組の推進				イベント	○	
			実績						
			95,852	103,874	50,637(9月30日現在)	約95,000			
5	住宅用火災警報器設置推進大会	自主防災組織や事業所の方々を対象に、住宅用火災警報器の奏功事例や地域で行われている共同購入の取組に関する情報を紹介 全世帯設置を推進することを目的として、みやこめっせで開催 来場の際、市バス・地下鉄の利用を勧奨する。	住宅用火災警報器設置推進大会の開催 22年6月27日(日)開催				イベント	□	
			実績						
			約1,700(参加者等)						
6	全国消防救助技術大会	全国消防救助技術大会は、毎年政令市等で開催されており、第39回大会を京都市消防活動総合センターにおいて開催した。 なお、同大会の開催に伴い、臨時バスを運用し、利用を促した。	全国消防救助技術大会の実施 22年8月27日(金)開催				イベント 臨時バスの運行	□	
			実績						
			約15,000(参加者等)						
7	京都市内で実施する各種会議、研修会等	京都市内で実施する各種会議、研修会等を実施する際に、市バス・地下鉄でのアクセス方法を紹介する。 (平成23年度実施例) 1 京都市市民防災フォーラム ～東日本大震災を経験して～ 2 消防記念日表彰式・防災講演会 3 「3.11 さずな・京都一大地震を教訓に」 トークショー等 (平成24年度実施予定) 1 全国消防長会総務委員会(11月13日)	取組の推進				広報・PR	○	
			実績						
			—	—	総務委員会(約100人)	—			

【交通局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	市バス・地下鉄友の会	市民の皆様やお客様を対象とした会員制の市バス・地下鉄のファンクラブとして、会報誌の発行や交通局のイベントへの参加などを通じて、局事業のPRを行い、市バス・地下鉄事業への理解を深めていただいている。	会員募集、会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介	5月29日「地下鉄まつり」でブースを設営し、更なる新規入会者の獲得を目指す。	会員募集、会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介		広報・PR	○	
			実績						
			310 (会員数)	326 (会員数)	259 (9月末現在)				
2	交通局マスコットキャラクターの着ぐるみの製作・活用	未来のお客様であるお子様に、市バス・地下鉄に親しみを持ってもらうため、交通局のマスコットキャラクターの着ぐるみを製作し、様々なイベントで活用する。	着ぐるみの製作	着ぐるみの活用			広報・PR	○	
			実績						
			各種イベントに22回出演	各種イベントに38回出演	各種イベントに18回出演(9月末現在)				
3	公営交通100周年事業	本市公営交通100周年の機会を捉え、公営交通としての市バス・地下鉄の果たす役割を市民の皆様に変更して広くPRするとともに、市バス・地下鉄により親しんでいただき、今後の一層のご利用に繋げるため、平成24年の1年間、各種100周年記念事業を実施する。			公営交通100周年記念フェスタ(6/10) スルッとKANSAIバスまつりの京都開催(9/23) 記念乗車券・グッズ発売等		広報・PRイベント	○	
			実績						
4	企画乗車券等の販売促進	他社局と連携して発売している企画乗車券等について、PRを積極的に行うなど、販売促進に努める。	企画乗車券の発売	企画乗車券の発売	企画乗車券の発売		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			56万枚 (発売枚数)	55万枚 (発売枚数)	31万枚 (発売枚数)				
5	民間交通事業者と連携した取組の推進	関西の公共交通各社と連携し、神戸や大阪の他社駅等で観光リーフレットの配布会やPRポスターの掲示を行うことで、相互に観光客の獲得を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進		広報・PR	○	
			実績						
			リーフレット配布会の実施(3回) 優待特典の付与(1回) 京都観光ポスターの他社局での掲出(5社局)	リーフレット配布会の実施(3回) 優待特典の付与(1回) 新しい企画乗車券の発売(1種) 京都観光ポスターの他社局での掲出(4社局)	リーフレット配布会の実施(1回) 販売促進キャンペーンの実施(1回) 京都観光ポスターの他社局での掲出(4社局)				
6	市バス・地下鉄愛好会事業の推進	大学などが自主的に企画・運営する、市バス・地下鉄の増客につながるイベント等について、交通局がPRなどの協力を行う。	愛好会事業の実施	愛好会事業の実施	愛好会事業の実施		イベント	○	
			実績						
			2回(6月20日、10月31日)	2回(10月15日～23日、10月30日)	0回				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
7	通勤・通学定期券のPR強化	定期券の利用促進を図るため、大学入学時のオリエンテーションでの配布資料に通学定期券のPRチラシを同封するなど、様々な機会を通じて定期券のPRを徹底して行う。	積極的なPRの実施	積極的なPRの実施	積極的なPRの実施		広報・PR	○	
			実績						
			ポスターの掲出(3,000部) 通学定期券リーフレットの製作(3万7千部) 大学訪問の実施	ポスターの掲出(3,000部) 通勤・通学定期券リーフレットの製作(3万部)	ポスターの掲出(3,000部)				
8	市バス・地下鉄によるお出かけを提供するスタンプラリーなどのイベントの実施	市バス・地下鉄利用の機会を提供するスタンプラリーなどのイベントを実施する。	イベントの実施	イベントの実施	イベントの実施		イベント	○	
			実績						
			3回 (実施回数)	2回 (実施回数)	1回 (実施回数)				
9	イベント列車の運行	地下鉄の利用促進を図るため、地下鉄車両に装飾を施したイベント列車を運行する。	イベント列車の企画・運行	イベント列車の企画・運行	イベント列車の企画・運行		イベント	○	
			実績						
			3回 (実施回数)	3回 (実施回数)	2回 (実施回数)				
10	地下鉄・市バスの利用促進を区役所でパネル展をして呼び掛け	区役所等でお得な乗車券、沿線観光情報等を発信するため、PRポスターの掲示やチラシを配布するパネル展を開催する。	パネル展の実施		パネル展の実施		広報・PR	○	
			実績						
			2箇所 (実施箇所数)	4箇所 (実施箇所数)	10箇所 (実施箇所数)				
11	地下鉄・市バスグッズの発売	こどもから大人まで幅広い層のお客様が市バス・地下鉄に親しみを持ってもらえるよう、市バス・地下鉄の車両をデザインしたグッズを発売する。	グッズの製作・販売	グッズの製作・販売	グッズの製作・販売		広報・PR	○	
			実績						
			5種類 (グッズ数)	6種類 (グッズ数)	9種類 (グッズ数)				
12	駅ナカビジネスの拡大	四条駅をはじめとした駅構内の配置を見直すことにより、活用可能な公共空間を最大限創出するとともに、民間のノウハウも活用して積極的に取組を展開する。	四条駅オープン 烏丸御池駅等の事業者募集 駅構内でのサブウェイ・パフォーマー事業の開始	4月 駅ナカスイーツ 京都市役所前店オープン 4月 簡易型店舗のオープン(国際会館駅、北山駅、今出川駅) 5月 Kotochika(コトチカ)御池オープン 6月 Kotochika(コトチカ)京都の出店者募集 ※オープンは平成24年度 7月 四条駅に宝くじ売場オープン Kotochika(コトチカ)京都工事着手	4/23丸太町駅に「志津屋」オープン 「Kotochika(コトチカ)京都」開業 ・9/25北改札口エリア ・中央改札エリア(25年春開業に向け工事実施中)		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			—	—	—	—			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
13	交通局厚生会の職員福利厚生事業における地下鉄・市バスの活用	職員の福利厚生事業(文化活動・体育活動)の開催地、集合又は解散場所について、可能な限り地下鉄駅及び市バス停留所付近に設定する。また、移動にあたり、交通機関を利用する場合は、可能な限り地下鉄・市バスを利用する。	11/14 「里山体験」開催	7/2「スタンプ ウォークラ リー」、8/27 「里山体験」開催	8/11「料理教室」開催	文化活動・体育活動の実施	職員等利用	○	
			実績						
			52名 (参加者数)	7/2 50名 8/27 83名 (参加者数)	8/11 36名 (参加者数)	約50名 (参加者数)			
14	増客に向けた市バスの系統・ダイヤの編成	地下鉄をはじめ民間交通機関とのネットワークを活かしたお客様の増加につながる系統・ダイヤを編成する。 利用者からの目線で分かりやすさを追求した路線やダイヤの実施に努める。	平成23年3月 市バスダイヤ改正の実施 ・地下鉄をはじめとする鉄道との乗継利便性向上 ・堀川通での利便性向上(夜間のJR新快速とのダイヤ調整、平日朝ラッシュ時間帯の最大待ち時間の短縮) ・経路が重複する系統間でのダイヤ調整による利便性向上(南1号、南2号系統) ・東山通方面から京都駅への運行充実(202号、207号系統) ・新たな公共施設開設に伴う市バス系統の設定(新左京区総合庁舎、東山開晴館) ・利便性向上に向けた停留所の新設、名称変更、分設の見直し	平成24年3月 市バスダイヤ改正の実施 ・お客様利便性向上施策の更なる展開 ・河原町通での等間隔運行の土曜・休日への拡大 ・地下鉄とのネットワークの強化 ・鉄道との乗継利便性の向上 ・沿線地域との連携による運行の充実 ・観光系統の運行の充実 「洛バス」100号系統の増便 金閣寺方面を結ぶ205号系統の増便 ・「京都水族館」開業にあわせた新たな運行の実施	取組の推進		利便性向上	○	
			実績						
			市バスの平均乗客数(1日) :31万4千人	市バスの平均乗客数見込(1日) :31万4千人	市バスの平均乗客数見込(1日) :31万8千人	市バスの平均乗客数見込(1日) :32万人			
15	観光地向け臨時急行バスの運行	京都駅をはじめとした主要地下鉄駅と観光地を結ぶ臨時急行路線を運行し、地下鉄から市内主要観光地へのアクセス向上を図る。具体的には、すでに運行している東山シャトル、二条城・金閣寺Express、永観堂・銀閣寺Expressの利便性向上に努める。	観光シーズンを中心に、臨時急行バスを運行	ゴールデンウィーク及び秋の観光シーズンを中心に、臨時急行バスとして、二条城・金閣寺Express、永観堂・銀閣寺Expressを運行。 東山シャトルは、上記期間とは別に9月の各3連休の初日・2日目に運行し、さらに、8月お盆の期間(本年度は8月13・14・15日の3日間)運行。	ゴールデンウィーク及び秋の観光シーズンを中心に、臨時急行バスとして、二条城・金閣寺Express、永観堂・銀閣寺Expressを運行。 東山シャトルは、上記期間に加えて、9月の各3連休の初日・2日目及び8月お盆の期間に運行。	利便性向上	○		
			実績						
			市バスの平均乗客数(1日) :31万4千人	市バスの平均乗客数見込(1日) :31万4千人	市バスの平均乗客数見込(1日) :31万8千人	市バスの平均乗客数見込(1日) :32万人			
16	バス待ち環境の向上	市バスの利用促進を図るため、新たにバス停広告を導入し、広告料収入を活用して、乗り継ぎの多い停留所を中心に雨つゆのしのぎやすいバス停の設置、ベンチの設置、周辺の駅や分設停留所、主要駅への主要時間などの案内表示の充実などバス待ち環境の向上を図る。	上屋付きバス停留所の設置 ベンチの設置及び更新	広告付き上屋…71箇所 ※H22の残り21基+H23の新規50基 ベンチ…100箇所	広告付き上屋…50箇所 →計104箇所 ベンチの設置及び更新…100箇所	利便性向上	○		
			設置数(箇所/年間)						
			広告付き上屋 19箇所設置	広告付き上屋 25箇所設置	広告付き上屋 現在12箇所手続中	未定			
			ベンチ 100箇所設置及び更新	ベンチ 100箇所設置及び更新	ベンチ 現在18箇所設置済み				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
17	公営交通100周年記念 デコレーションバス作成	公共交通100周年を記念し、各営業所の運転士により、市バスに装飾を施し、デコレーションバスとして運行し、増客を図る。			5営業所の各1両に装飾を施し、運行する。		広報・PRイベント	○	☆
			実績						
				6/10から各営業所所管の一般路線で運行開始					
18	市バス車内の乗車券販売の充実	市バス専用一日乗車券カード小児券のバス車内販売を開始するとともに、同大人券の販売を全系統に拡大する。			小児券の車内販売を開始し、大人券の販売を全系統に拡大する。	販売の継続	利便性向上・乗車券販売	○	☆
			実績						
				小児券の車内販売開始 大人券の販売を全系統に拡大					
19	地域、集客施設等との連携事業	地域、集客施設等と連携して公共交通の利用促進をPRし、増客を図る。		地域、集客施設等と連携し、公共交通利用促進キャンペーンを実施			公共交通への転換	○	☆
			実績						
			高島屋京都店と4回実施	高島屋京都店と2回実施					
20	駅の案内サイン等のマニュアル作成や外国人等に対するサービスの向上	ユニバーサルデザインに沿った統一的なサインマニュアルや障害者・高齢者・外国人観光旅客に対応するマニュアルを作成し、接客サービスの向上を図る。	マニュアルの作成に向けた調査	マニュアルの作成に向けた調査・検討	マニュアルの作成に向けた調査・検討		利便性向上	△	
			実績						
			他事業者からの情報収集						
21	地下鉄の日の取組	5月29日の地下鉄の日の取組として駅周辺でイベントを行い、集客に努める。	5万人増収増客月間の一環としての取組	地下鉄開業30周年記念の取組	公営交通100周年記念事業と連携した取組		イベント	○	
			実績						
			2000人(来場者)	12,000人(来場者)	【絵画展】 鞍馬口、九条、石田、太秦天神川の4駅で開催(絵画約630枚) 【記念列車】 各線1編成(写真コピー330枚掲出)				
22	醍醐車庫見学会の実施	醍醐車庫を一般に公開する見学会を実施し、増客を図る。	22年10月17日(日)開催	23年10月16日(日)開催	24年10月中旬(日)開催予定		イベント	○	
			実績						
			1269人	1257人	1000人	1000人			

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
23	アートパフォーマンスin山科の実施	月1回山科駅近辺の音の広場において、一般募集のパフォーマーによるイベントを実施し、増客を図る。	月1回実施	月1回実施	月1回実施		イベント	○	
			実績						
			1000人	1000人	1000人	1000人			
24	沿線施設とのタイアップによるイベントの実施	地下鉄沿線の集客施設と連携し、地下鉄の増客やイメージアップにつながるイベントを実施する。	地下鉄沿線ホテルとの連携によりイベントを実施	地下鉄沿線ホテルとの連携によりイベントを実施	地下鉄沿線ホテルとの連携によりイベントを実施		イベント	○	
			実績						
			事業数:1回 期間:2月~3月 参加者数:91人	事業数:2回 ①実施期間:9月~10月 参加者数253人 ②実施期間:2月~5月 参加者数:163人					

【上下水道局】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
1	蹴上浄水場一般公開、鳥羽水環境保全センター一般公開	施設の公開等の際に市バス・地下鉄の利用をPR(チラシ等での案内)する。また、鳥羽水環境保全センター一般公開の際は、地下鉄の駅から市バスによる送迎を行うとともに、施設内の循環バスについても市バスを運行する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	イベント・臨時バスの運行	○	
			実績						
			約35,000人 (来場者数)	約29,000人 (来場者数)	約45,000人 (来場者数)	30,000人程度 (来場者予定数)			
2	上下水道モニターへの謝礼	上下水道モニター事業の一環として実施する意識調査(アンケート)やモニターレポートの提出に対する協力の謝礼として、トラフィカ京カードをお渡しする。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			30 (上下水道モニター数)	30 (上下水道モニター数)	30 (上下水道モニター数)	30 (上下水道モニター予定数)			
3	職員への市バス・地下鉄利用促進に向けた取組	上下水道局職員を対象に市バス・地下鉄利用の促進を周知・PRする。庁内誌に、「若手職員増容チーム」に参加している職員による記事を掲載している。	取組の推進	取組の推進		→	職員等利用	○	
			実績						
			・平成23年2月に掲載	・平成24年3月に掲載	—	—			
4	京都駅地下通路への自動販売機の設置	地下鉄京都駅の通路に、災害用備蓄飲料水「京の水道 疏水物語」専用自動販売機を設置する。H24.4.19には代替を行い、幅広自販機の設置を行った。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			1台 (設置台数)	1台 (設置台数)	1台 (設置台数)	—			
5	地下鉄広告の活用	上下水道事業をPRするため、地下鉄駅構内及び車両を活用した広告事業を展開している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			車内広告、柱広告、フロアシート	車内広告、柱広告、フロアシート、壁面広告	車内広告、柱広告、壁面広告	—			
6	トラフィカ京カードによるPR	上下水道事業をPRするトラフィカ京カードを作成する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績						
			20,000枚 (作成枚数)	20,000枚 (作成枚数)	20,000枚 (作成予定枚数)	20,000枚 (作成予定枚数)			
7	所管施設におけるPR	営業所住所案内に最寄りの地下鉄駅・バス停から徒歩〇分といった記載をすることで、公共交通機関の利用を促進する。具体的には、上下水道局ホームページの営業所一覧において、最寄りの地下鉄駅・バス停からの所要時間を記載している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	→	広報・PR	○	
			実績						
			—	—	—	—			

【教育委員会】

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度				
1	教育施設への来館者に対する公共交通機関の利用啓発	施設の待合室等への地下鉄及び市バスの時刻表の掲示や、教育施設での各種講座等への参加者に対し、来場の際には公共交通機関を利用いただくよう、参加案内チラシ等に記載するなど、市バス・地下鉄の利用促進を促す。また、交通局主催のスタンプラリーポイントも活用している。	取組の推進					広報・PR	○	
			実績							
			5325000(人)	5368503(人)	2499106(人)	—				
2	「青少年科学センター」の取組等	青少年科学センターでは、展示場やプラネタリウム等を一般開放しており、特に集客の見込める夏休み等には無休開館するとともに、特別展示等のイベントポスターを地下鉄駅構内へ掲示している。また、京都修学旅行パスポートやスルッとKANSAI3dayチケット等の提示で入場料を減免している。	取組の推進 (減免者数の増)					イベント特典付与	○	
			実績							
			98(人)	101(人)	80(人)	—				
3	「地下鉄子ども文庫」の実施、図書返却ポストの設置	親子で自由に本を選んで持ち帰ることのできる「地下鉄子ども文庫」を、地下鉄駅近辺で開催。また、市図書館の図書返却ポストを地下鉄駅に設置(市役所前駅(21年度)、北大路駅(22年度))	「地下鉄子ども文庫」の実施。	※23年度は、「地下鉄まつり」の一貫として開催。				施設の整備・誘致イベント	○	
			実績							
			200(人)	168(人)	137(人)	—				
4	コンサート・展覧会等の実施	京都市少年合唱団演奏会、不登校フォーラム等の開催とともに、地下鉄二条城前駅に隣接する京都市立京都堀川音楽高校(22年4月開校)の新校舎に設置する音楽ホールやギャラリー等の音楽・美術活動の中核施設において、コンサートや展覧会を実施する(市民も利用可能)。	京都堀川音楽高校の移転コンサート、銅駝美術工芸高校創立130周年記念事業を開催。	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)			イベント	○	
			実績							
			17800(人)	24990(人)	19534(人)	—				
5	教育委員会主催事業等における公共交通機関の利用促進	教育委員会主催事業等に参加する学校が、児童生徒の移動手段として、民間貸切バス等を利用しているものについて、可能なものから順次、市バス・地下鉄利用に切り替えていく。 ・小学生のための音楽鑑賞教室 ・青少年科学センター学習 ・生き方探究館での学習 など	取組の推進 (例示3事業の総参加人数)					公共交通への転換	○	
			実績							
			49,500(人)	51,108(人)	19,560(人)	—				
6	審議会委員やボランティア活動、ジュニア京都観光大使、各種大会の役員謝礼	教育委員会所管の各種審議会や各市立学校・幼稚園、教育施設等でのボランティア活動、ジュニア京都観光大使の活動に対する謝礼、各種大会役員への謝礼について、可能なものから、「トラフィカ京カード」に切り替えていく。	取組の推進					乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			4900(枚)	9612(枚)	5348(枚)	—				
7	家庭教育新聞「あしたのために」懸賞	全市立幼稚園、小・中・高・総合支援学校の保護者を対象に配布する家庭教育新聞「あしたのために」(年4回発行、各号17万部)におけるクイズ等応募の懸賞を図書カードから「トラフィカ京カード」(1000円相当)とする。	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行					乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			120名(懸賞) 102万(発行部数)	80名(懸賞) 68万(発行部数)	40名(懸賞) 34万(発行部数)	—				

番号	事業項目		年次計画				類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度				
8	情報誌「GoGo土曜塾」での取組	私立・国立を含む市内小中学生と全保護者に学校を通じて配布するとともに、市役所、区役所・支所、図書館、郵便局等で配布している情報誌「GoGo土曜塾」(年9回発行、各号約13万部)に掲載しているクイズの懸賞を「トラフィカ京カード」(1000円相当)とする。 表紙には「洛ナビ」のロゴ及びQRコードを掲載し、市バス・地下鉄の利便性を向上させる。	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行、「洛ナビ」のロゴ及びQRコードを掲載				→	広報・PR 乗車券販売・広告収入	○	
			実績							
			10名(懸賞) 117万(発行部数)	50名(懸賞) 117万(発行部数)	10名(懸賞) 52万(発行部数)	—				
9	教育委員会主催事業等における公共交通機関の利用啓発	教育委員会主催事業等の参加者に対し、来場の際には公共交通機関を利用いただくよう、参加案内チラシ等に記載するなど、市バス・地下鉄の利用促進を図る。 ・子どもを共に育む未来づくり教育フォーラム ・成人の日記念式典 ・PTAフェスティバル など	取組の推進 (例示3事業の総参加人数)				→	広報・PR	○	
			実績							
			33,700(人)	34,627(人)	16,800(人)	—				
10	地下鉄駅における児童等の絵画展の開催	教育委員会主催事業等における児童等の絵画展の全部または一部を地下鉄駅で展示し、子ども、保護者の地下鉄利用の促進を図る。	-	取組の推進	取組の推進		→	イベント	○	
			実績							
			—	銅駝美術工芸高校生徒の作品展示(蹴上駅)	銅駝美術工芸高校生徒の作品展示(蹴上駅)	—				
11	「人づくりニュース」懸賞	人づくり21世紀委員会に参画する団体や市内の幼稚園、保育所、小・中・高・総合支援学校の保護者等を対象に配布する「人づくりニュース」(年3回発行、各号18万部)における感想応募の懸賞を「トラフィカ京カード」(1000円相当)とする。	-	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行			→	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			—	43名(懸賞) 54万(発行部数)	20名(懸賞) 18万(発行部数)	—				
12	「京発見!ミュージアムへ行こう」 「京都市内博物館ガイドブック」発行による市バス・地下鉄の利用啓発	市内にある博物館・美術館を紹介する「京発見!ミュージアムへ行こう」(23年10月発行)「京都市内博物館ガイドブック」(平成25年2月発行予定)に地下鉄の路線図や各施設の最寄駅等の情報を掲載し、利用者の増加を促進する。	-	取組の推進			→	広報・PR	○	
			実績							
			—	35,000(発行部数)	—	—				